明治三十九年八月十日第三種郵便物認可　第三千八百五十一號（一）
THE KEIJO NIPPO　大正七年六月十二日　朝刊休刊

京城日報

六月十一日夕刊（朝夕刊を併せて八頁）

◎聯軍高地奪還
獨軍疲弊、聯合軍攻勢に轉ず

獨逸攻勢軍の兵力は最早消盡され疲弊の兆現はれたるより聯合軍は今や攻勢に轉じ七日は全戰線に亘る局部的戰鬪に於て成功を收め數箇村落を奪還したり就中最も重要なる成功はシャトウチエリー西方なる二〇四高地を奪還せる事之れなり（倫敦電報）

◎獨政黨講和に一致す

獨逸各政黨は此際講和提議を得策也とするに一致せり（倫敦電報）

◎過激派軍支那領土侵入
反過激派軍敗北＝楊督軍電照

新疆督軍楊增新氏は中央政府に對しホルコス縣知事の報告によれば露支國境の過激派對反過激派の戰鬪激烈にして反過激派軍敗北し過激派軍は農民數千を慘殺し軍體千餘幅を掠奪し支那領土に侵入し來れり如何に處置す可きやと電照し來れり（北京特電）

◎過激派軍グロデコフ到著

グロデコフに過激派の大軍到著したり（哈爾賓特電）

◎セ軍避難民撫恤

滿洲里に集りたる避難民三千四百名に對しセミヨノフ軍は糧食を給與して撫恤しつゝあり（哈爾賓特電）

◎赤衛軍司令長官

前水雷驅逐艦乘組兵曹ラブリヤコーフ氏は臨時浦鹽要塞赤衛軍司令長官に任ぜられたり（浦鹽電報）

◎東淸鐵道組織變更

東淸鐵道廳は今回左の如く組織を變更せり
總裁　郭宗熙▲副總裁　ウエンチエリ▲專務理事　ホルワット▲理事　フルチヤツク、チロフ、ウストルゴフ、プチロフ、スラウタ、エゼツクスキー、顧（支那交通部員）
郭總裁は尙露都にあり赴著任迄ホルワット氏代理事務を執る可しと（東京特電）

◎支那留學生今秋歸校
江庸氏語る

日本支那留學生監督江庸氏は十日來奉十二日、內地へ向け奉天發南下途中京城に一泊の豫定なり氏の談に曰く「目下日本に留學せる支那學生は總數三千人以上に上り居れるが今回の日支新協約を誤解して其半數以上歸國せりされど彼等は歸國の上始めて協約の眞意を了解したるを以て不日再び復校するに至る可し併し目下は暑中休暇も迫れる事とて其多くは今秋を待ちて渡日す可く大に樂觀し居れり」と（奉天電）

◎辭令

十日左記の通り發令ありたり（東京特電）

支那駐屯軍司令官陸軍少將　石光眞臣
免本職補憲兵司令官
參謀本部課長歩兵大佐　金谷範三
任陸軍少將補支那駐屯軍司令官

◎高知沖繩當選
多額納稅議員

貴族院多額納稅議員高知、沖繩選擧は高知は竹村與右衛門氏沖繩は平尾喜三郎氏當選せり（東京特電）

◎鶴田博士逝去

理學博士鶴田賢次氏は十日腦貧血にて逝去せり（東京特電）

◎總督東京著

長谷川總督は十日午後八時爺居武官、齋藤、高岡兩副官、神田秘書官を隨へ東京驛著早稻田の自邸に入れり（東京特電）

◎司法官會議（第二日）

司法官會議第二日は十一日午前九時より總督府第二會議室に於て開會午前中諮問事項正午休憩午後再開協議事項に就き協議午後四時散會せり

◎師團聯隊長會議（第四日）

師團聯隊長會議第四日は十一日午前八時三十分第十九師團司令部に於て開會出席者前日同樣直ちに日程に入り岩田軍醫部長、中河原獸醫部長の口演あり更に質疑回答打合せあり正午休憩午後一時再開高少佐の講演あり以て本會議を終了せり

◎定例長官會議

十一日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部局長官參集諸般政務に就き夫々審議する處あり正午散會せり

◎移出米餘力何如

朝鮮各港の在米に就き某筋の調査なる處に現在の處約左表の如きものなるべし

釜山	十六萬叺	木浦	二萬叺
群山	十四萬叺	鎭南浦	九萬叺
仁川	十七萬叺		

乃ち開港地の在米約六十萬叺に達し相應の集積あるに似たるも仁川の如きは十七萬叺の在米中約半數は定期の渡し米にてその他各地の在米も多く精米筋の手持たり當に全部を移出能力あるものと見るは不當なれど要するに各港竝に農家の手許には最近大阪筋の買ひ進みありしものとは云へ未だ五六十萬石の餘力は存し居るべし又一般に在米少なからざるべしとの推測は滿洲粟の上物一袋十五圓所の安値に拘はらず賣行きの多からざるによつても之れを見得べしと

◎京城正米市場設置計畫

最近京城有力米穀商間に正米取引市場を設置せんとの計畫ありり〳〵協議を進めつゝあるが內鮮當業者に一人の反對なく當局にても好意を以て該問題に相對しあるやにて近く設立を見るべき模樣なり唯其手續は目下計畫者側にて研究中なるも未だ朝鮮には右の如き市場の許可を申請すべき法令の發布なき由にて或は屆出でのみにて可能ならんとの說もあり但し一說には同業組合に準據すべきものなりとも云へど正米取引市場は同業組合の支配を受くべきものに非ざる由なり

▽正米市場必要

某當業者に付正米取引市場新設理由を聞きたるに曰く京城には昨秋穀物組合なるものは成立せしも穀米取引方法等の事を取極め居らざるに付正米集散市場として鮮內屈指の京城に正米の取引をなすべき所なく又

△公定相場　相立たず從つて現に正米標準値なるものは米商間各自勝手に取極むるに付隨分區々に分れ居り且つ相場の變動も隨分甚しく地方よりの廻著米の如きは先物取引をなし相場の公定されたる仁川、群山、釜山等の市場に奪はれ行く觀さへあり要するに京城の如き大市場に何等米穀の受渡し市場を有せず穀物商相互間に之れを行ふは諸種の不利を感ずるにつき今回正米取引市場新設の議起りたる所以なるが該市場の開設を見ば第一京城に於ける正米公定相場の確立を見て市內區々の相場を統一し從來の如き米價の激變を防ぐを以て

△正米の取引　は圓滑となり取引上より起る紛擾問題は大に減ずるに至るべし且つ目下京城に集まり來る米穀は殆んど消費米に限られ居れるも正米市場の新設を見て取引を確實に迅速に行ひ得べく乍ら過般發布されし京城米穀檢査規則と相俟つて多少輸移出米の廻著をも見得べく京城市內の集散米は此點より見るも增加し來るべし唯組合の內容等は尙ほ講究中に付決定せし所少なきも要するに設備の如き極めて簡單に終るを以て

△市場開設　の事定まらば直ちに開場し得べく素より組合にては仲買人等も新設の豫定なり尙ほ京城正米市場の開設は幾干か仁川市場の廻米減を來すに付同方面より反對意見出で居るやに聞くも元來京城に今日まで此種の市場を存せざるは寧ろ常態に非ずと云ふを適當とすべく仁川の故障の如きは問題に非ざらん

明治神宮御造營諸材料樹木運搬注意

明治神宮御造營諸材料竝に境內栽植用樹木類運搬に就ては明治神宮造營局より鐵道院運輸局に對し運賃割引の期間が單に當分の內とありて發驛に於て當分の期間經過後と推斷し割引を拒まれ又普通荷札に對し證票の文字を使用せる爲め發驛に於て證票の文字を重要視し當局より發送票に對し別に證票を下附すべきものと若へ證票無きを理由として割引を拒絕せらるゝ等の行違を生じ又發驛が「潮留、飯田町、新宿、澁谷、秋葉原、隅田川、兩國橋」となり居る爲め輸送上誤解多く著驛は單に「新宿、原宿（但原宿は普通扱に限る）」と訂正方照會せるに運輸局より右の旨了承の回答に接したれば內務部長官は十一日附各道長官（忠北を除く）管內獻木搬入者に對し周知方取計ふ可き旨通牒を發したり

◎東淸線一部運轉中止

東淸鐵道線ポグラニーチナヤ、グロデコウ間旅客、貨物、兩列車共運轉中止せる旨淸鐵京城管理局に通知ありたるを以て同局にては浦鹽ハバロフスク、ニコリスク、ウスリスキー行連絡旅客貨物の取扱を中止せり

◎公會堂設計

京城公會堂設立に關する曲折は度々本紙に記載せるが集會所側の各實業家も夫々寄附金額を決定し新規設計書の決定次第醵出する筈

△賃地踏査を　行ひたるに中央部意外に低きを以て盛土を爲すべしとの案も出でたれども長谷川町道路との權衡上寧ろ尙一段と土地を下げ地下室を造る方便利なるべしと決したり依て新規設計書は三階となし上部を公會堂中部を商業會議所と爲す筈なるが若し地下室を造るに於ては基礎工事に多額の經費を要すること勿論にして右の如き大建物を完成し得べきや否や頗る疑問とせられつゝあり又寄附者側の最も疑問とする所は公會堂の

△維持方法　にして會議所當局者の意見としては使用者より電燈又は冬季石炭等の實費を徵する外公會堂の用料を徵せざる方針なるも斯ては公會堂の維持費は何れの收入より支辨するや當事者の意見としては商業會議所より維持費を支辨すべしと爲し居るもの、如し

◎朝郵公會堂寄附

朝鮮郵船會社にては京城府公會堂新營に關し之れが寄附金として一千五百圓を提供することゝなりたるが右の寄附金額は鮮銀、東拓、滿鐵に亞ぐ由にて銀行集會所に屬する十三法人よりの寄附金一萬二千五百圓と合せ公會堂新營費は合計七萬四千餘圓を算するに至れり

◎巴倫間飛行試驗

巴里倫敦間の飛行郵便の試驗として五日水上飛行機にて兩都間の往復飛行再び試みられたるが佛國飛行機一隻は同日午後一時巴里を發し二時四十五分間にて倫敦に著し歸途は同四時倫敦を發し二時三十五分間にて巴里に歸還したり（巴里電報）

◎米大統領墨國記者引見

米國大統領ウイルソン氏は米國視察中なる墨國知名の新聞記者の一團を引見し米墨親和に關する演說を爲したり（紐育電報）

◎支那出兵問題會談

東淸鐵道長官ホルワット將軍は哈爾賓より齊々哈爾に赴き郭宗熙督辦及び孟督軍と會議中なるが右は支那出兵問題に關してなり（北京電）

◎過激派に對する米人の論調

帝國政府及び民間の一部には、今でも尙米國は露國過激派政府に滿腔の同情を表し、少しでも之が成功を害するを憚ばず、例へば日本の西伯利出兵の如きは當然反對すると信じてゐるものがある。これ米國の思想の如何なる形に依て變化しつゝあるかを知らぬものである。其證據として紐育『タイムス』の社說を紹介する『タイムス』の政治的色彩は獨立民主黨と見られてゐるが、米國の新聞紙中最も代表的なる者として定評がある『タイムス』の社說は曰く

▽過激　派政府は露國人民の自由を奪つた彼等は露國人民の選擧した代表機關たる憲法議會を解散した。過激派以外の集會を禁じた、政府を誹謗せぬ新聞の發行を許さぬ、露國の人材は大抵監獄に入れられて居る。之れのみでない他の國では專制君主の下にあつても人民は相當に生活して相當に幸福なる事を得る、露國の今日では製造工業は全部破壞された形である。交通機關は亂れ之すら出來ぬ。物資の生產は最少限度に減ぜられた。之には獨逸人すら閉口してゐる、例へば露西亞の農民は故意に穀物の植付けをせぬ、之は言ふ所に依ると、獨逸人のブレストリトウスクの條約の違反であるといふ。併し露國の大領土を通じて人民は殆ど饑餓に瀕し、各個人如何なる手段を用ひても食物を求めんとする狀態にある、これでは社會組織が根底より破壞される危險がある、資本の大部分は過激派に沒收されたか然らずんば隱れて出ない、農民は土地の分け取りをしてゐる

▽各種　の情報に依るに現在露國の人民は今明瞭に目が醒めた即ち彼等をして此の如く困窮ならしめた者は過激派であると云ふ事を悟つた。過激派政府の宣言した所は政府は資本家と中產階級を相手に戰つて、一般人民に安寧幸福を與へると云ふのであつた。然るに實際一般人民の得た所は死と迫害のみである。露國人民が如何に過激派政府を見るかは在米露人の米國自由公債募集に對する心で分る。紐育の貧民窟は露人民が多數住んでゐる、此等が自由公債募集に盡力して驚くべき效果を擧げた。彼等は露國を思ふ事深く、露國の將來に對して心配してゐる。彼等が一時過激派の主義主張に迷はされたは事實であるが然し今日では、彼等も、レーニン、トロツキー一派は露國人民を救ふと云ひながら、實は露國人民を苦しましめ、露國人民をして獨逸の奴隸たらしめたと云ふ事を悟つた彼等は今後露國の救はるべき途は只聯合國が獨逸に勝つにあるのみと思つてゐる。其結果、米國が戰爭遂行の爲に要する公債募集に全力を盡したのである。

▽在米　露國人が聯合國を賴みにしてゐるに反し、露國自身の露國人は他の方面より助けを求むるかもしれぬ。露國の人民中には過激派の壓制よりは獨逸の支配の方がよいと思ふ者もあらう。既に彼等は如何なる政府の下に居つても過激派政府の下に居るよりは增しだと思つてゐる。此事情を考へると今日の危險は聯合國が過激派政府を承認し、或は之れを援助する危險より大なるものはない。若し聯合國が過激派政府に好意でも表しようものならば、それこそ露國の人民は、其の最も悃しとする敵を、聯合國が助けるものと考へて、彼等は直ちに獨逸に向つて援助を求めるに決まつて居る。露國人民は過激派を目して人民の敵と思つて居る、從つて過激派を助けるものは人民の敵であると云ふのである

▽聯合　諸國は何等かの手段を執つて露國人民を過激派の手より救濟する方法を講ずる必要がある之は武力を借りても成すべき事業である、初めは困難であらう、然し聯合國が此大戰に際して成すべき事は只自國の利益を計る事のみでない、人道の爲には多少の困難は忍ばねばならぬと

◎奉繭共同販賣

京畿道にては例年の如く管內に於て春繭の共同販賣を施行すべく目下調査中なれば一兩日中に販賣日割を發表す可しと

◎松川中將出發延期

六月十三日午前九時四十分龍山出發鴨綠江沿岸巡視の途に就く豫定なりし軍司令官松川中將は都合に依り一日延期し十四日朝出發元山を經て北鮮に向ふことゝなれり

◎布目少將訪府

鎭南浦水路測量狀況視察の爲め同地に赴き居たる海軍省水路部長海軍少將布目滿造氏は十日入京十一日午前九時總督府に山縣政務總監を訪問し入京の挨拶を爲し暫時會談の後辭去せり

◎關屋局長出張

關屋學務局長は咸興高等普通學校開校式臨席の爲め十一日出發す

◎米國總領事歸京

京城駐在米國總領事ミラー氏は過般家族同伴東上中の處九日夜歸任十一日總督府に久水外事課長を訪問し暫時會談の上辭去せり

◎弓波執行動靜

九日元山へ向ひたる西本願寺の弓波執行は十日仁川に赴きたるが十一日午後二時半同地發の列車にて龍山驛著龍山元町本派本願寺に入れり師は十二日朝發列車にて歸京の筈

◎馬場中尉著任

全羅南道警務部副官より警務總監部保安課警務係に榮轉したる中尉馬場龜格氏は十二日朝著任の筈

◎古海總長招宴

古海警務總長は[illegible]江原兩道警務部長に榮轉せる脇野大尉酒川憲兵分隊長に榮轉せる小山田少佐光州憲兵分隊副官に榮轉せる吉田大尉の三氏を十二日午後七時京喜久に招待し晩餐會を開く可し

大邱

▲燒酎製造成績　慶北道試驗所にては道內產出の槲櫟の實を以て燒酎製造を試みつゝあるが其成績の如何に依りては從來廢物視され居たる本道產の該實數千石も或は意外の收益を見るに至るべきか

▲驛發著貨物　大邱驛に於る五月中の發送局線一千九百七十九噸同連帶九十七噸到著九千八百八十九噸同連帶五百七十噸計七千八百六十八噸同連帶六百六十七噸にして之を前年同期に比すれば發送局線に於て四百七十餘噸を增加せるも同連帶に於て百餘噸の減少を見又到著局線二千九百三十二噸を增加し連帶に於て五百九十八噸を減じたるも發著全體を通じて二千七百餘噸の增加を見たり

群山

▲忠南長官　上林忠淸南道長官は管內忠淸南道沿岸各地道路其他巡視の爲め忠淸南道山本土木主任外土木技手二名を從へ九日午後五時三分群山著列車にて來著したるが停車場には天野府尹其他官民多數の出迎ありて直ちに谷口旅館に入り一泊の上翌十日出發忠南舒川を經て大川に向へり

▲長官歡迎宴　別項忠南上林道長官の來群を機とし群山官民有志發起となり九日午後八時より亭花月に於て上林長官一行を招待し歡迎の盛宴を張れり

▲綿工場擴張　群山不二商業株式會社は前期決算に於て六割配當の好成績を示したるが同社經營に係る繰綿工場の現在設備は西海岸布井精米所に隣接し繰綿機十五臺を据ゑ付け十二時間實働一萬斤繰綿作業の能力なりしも全北及び忠南に於ける原棉產額の年々益々增大するに鑑み此際工場設備の大擴張を行ふ事となり群山東[illegible]社宅所在地三百九十六坪を買收し同地に建築敷地の土工に著手すべく建築物は工場百三十五坪倉庫八十二坪事務所十二坪機械室十六坪計二百四十四坪の設計にして原動力は吸入瓦斯七十馬力繰綿機五十臺を据ゑ付け製綿能力は十二時間に三萬五千斤晝夜作業六萬斤の製綿能力を有する設備なりと

人事消息

▲寺尾規矩三氏（新義州稅關支署長）　十一日朝入京不知火旅館へ
▲篠田楢樸氏（釜山辯護士）　同上
▲今關天彭氏（總督府囑託）　十二日朝[illegible]
▲寶田功氏（專賣課[illegible]出張所長）　[illegible]三日間の豫定にて鎭南浦平壤へ出張を命ぜらる
▲松井房治郎氏（元山稅關長）　十日附出張を命ぜらる
▲池田泰次郎氏（土木課技師）　[illegible]郡牙山郡溫山郡管內へ十日附十六日間の豫定を以て出張を命ぜらる
▲國友尙謙氏（保安課長）　警務部長會議の爲め東上中のところ十一日夜歸任の[illegible]
▲柳原砲兵中佐　十一日朝元山へ
▲川邊照雄氏（朝鮮紡織會社專務）　[illegible]
▲中村彥（同上顧問）　同上
南大門發東上
▲古城[illegible]氏（京城銀行取締役）　十二日[illegible]の筈

北遊詩草（三）
北溟　持地六三[illegible]

鏡城客舍
幾多茅屋夜燈明。客舍無譁一[illegible]平。曉起窓前風似水。只聽[illegible]和鷄鳴。

咸鏡北道巡察途上作
稗田麥隴人新栽。柳色[illegible]。五月重來咸北路。百花[illegible]一時開。

朱乙溫泉即事二首
幽境靈泉沸々新。更無俗客[illegible]。常檻溪山壓面綠。宛然[illegible]中人。

又
雨後淸山顏色[illegible]。[illegible]中宵人定四隣寂。只聽[illegible]和水聲。

［偶成］　服部古[illegible]
覺來官僕又民僕。千載過[illegible]。未覺綠陰移楊柳。風[illegible]檢香殘。

□鴨綠江畔より
勝村生

○昨夜沿線は豪雨にて候ひき。○今朝見渡す限りの山また森、雨に洗はれみどり一しほに御座候。○黑い雲、白い雲、明るい雲一ぱいに擴がりて又雨らしく候。此の邊今年は稀有の多雨[illegible]開しび候。

○只今鴨綠江を渡り候。上流の雨濁流と筏とを流し居り候。[illegible]の柳みどりの蔭よりは、お馴[illegible]筏師の唄ゆる風情に御座候。

○鴨綠江を國境のやうに考へたるは昔の事にて、今は少しも左樣なる感じも致さず、樂々と車中に[illegible]たはりつゝ、滿洲に入り候。否[illegible]洲に歸り申候。（十日）

夢の如き傳說、夫に學術上の解決を求むるは愚だ

曾尸茂梨が春川だか慶州だかまた熊成峰か熊川だかそんなことは判るものか

文學博士 黑板勝美氏談

入京中の文學博士黑板勝美氏を山本旅館に訪へば今度は鴨綠江上流地方から成鏡道江原道等の史蹟を研究する豫定で十二日義州に向け出發し

◆鴨綠江岸 を遡つて通溝で好大王の遺蹟を研究し高山鎭から兩下して長津を經田來得るならば支那の影響を受けない火田民の原始的生活を視察したいと思つて居る長津郡、成興郡の境に聳ゆる黃草嶺の峻險を越ゑて眞興王の拓境の碑も是非研究せねばならぬが場合に依つては成興の遺蹟を探ねた上淸津

◆會寧方面 に廻り江原道に出て約五週間の後歸京するつもりである、從來學者の間に曾尸毛梨に就いていろ〳〵な說を發表してゐるが僕に言はせると馬鹿〳〵しい事だと思ふ一體日本の傳說が何處まで信じ得らるゝか疑問であるが素盞嗚尊が實在の人物である事すら學說として說明する事は困難である

◆傳說は夢 である、其の夢に學術上の解決を下さうとするのは甚い努力ではあるまいか夢と言ふものは人種に依つていろ〳〵違ふ從つて傳說も其國民性に依つて背景なり神なり人物なり表現された思想なりが違ふもので彼の素盞嗚尊の傳說の如きも

◆牽强附會 の說で强ひて實在性を與へずとも日本の國民はさう言ふ傳說を持つてゐると言ふ事に留めて置きさへすればそれで宜いではないか曾尸毛梨が春川であるとか慶州であるとか熊成峰が今の熊川だなぞゝ言ふ說を立てゝ見た處が根據となる可き上古の歷史が完全でない以上

◆枝葉問題 が解決される筈がない僕等の考へでは往古漠々の時代にあつて朝鮮との交通が開かれて居たと言ふ事が傳說＝日本國民の夢の中にあつたと言ふ事さへ覘び知れば足りる事と思ふ

先づ京城の空に飛ばん

關釜間の連絡飛行は八月頃か

▽帝國義勇飛行理事川上中尉等の計畫

朝鮮に飛行學校設立の目的にて目下之が資本金募集中なる川上飛行中尉は七月上旬同氏の考案に成る七十馬力發動機附飛行機の到着を俟つて先づ京城に於て最初の飛行を試み八月に到らば關門釜山間百二十三浬橫斷飛行を決行する事となれるが下關は要塞地帶に接近し飛行不可能なるやの嫌あり旁々出發地は今少し福岡方面に片寄れる處に選定す可く著陸地は釜山鎭埋立地を最も適當なりとすれど尙其時期に至り實地を踏査の上決定する筈なり又飛行學校は龍山永登浦間に適當の土地を選定設置の意嚮なるも一箇所の飛行地にては不便多く現に所澤飛行場の如きも二三の飛行機を同時に上昇せしむる時は衝突の虞ある程なれば右の外東大門の邊にも一箇所飛行場を設け度しと同中尉は語り居れり

畫趣の豐富なる朝鮮の自然

目く眩しい空の色明るい地の色生々した原色の服裝に製作慾に燃ゆる眼を耀かせて小林萬吾畫伯語る

東京美術學校教授小林萬吾氏は今回來鮮府內旭町片山鮮銀理事方に滯在する[illegible]畫伯の語る所に據れば

私は大正三年歐洲からの歸途朝鮮を通過したが其時觀た水原の印象が非常に懷しくて忘れられぬ機會があつたなら一度描いて見たいと念つて居たので今度寸暇を得て遥々遣つて來たのであるが親しく

◆朝鮮の地 を踏んで見ると畫題が豐富なのには驚いた、晴々しい空、透明の空氣、明るい地の色、生々しい原色の服裝、慨しい自然と人物の色彩の調和が何とも言はれぬ程美しくて見るもの總てに製作慾を唆らるゝやうな感興を覺ゆる、內地では雨が多くて空氣も地の色も黝ずんで居るから田圃に出ても

◆カンバス を擴げる氣にもなれない、それに農夫の服裝が暗い紺か何かに限られてゐるから嫌な感じがするが朝鮮は此點に於て內地とは全然趣きを異にしてゐて地の色の如きは何となくフランスの田舍のやうな感じを與へられる、私は近日中に水原に行つて約二週間位ゐは畫筆に親しむつもりであるがあれ丈けの

◆自然なら 必然大作を成し遂げ得る事と自信してゐる、都合に依つては金剛山にも遊んで見たいと思つてゐる、因に畫伯は黑田淸輝氏に就いて專ら油畫を研究し後美術學校卒業の上同校助教授となり後文部省より西洋畫研究の爲め獨佛伊の三箇國に滿三箇年間留學を命せられ留學中は

◆佛國現代 の大家アンリー、マルタン氏に就き大いに研究する處あつた人で主なる作品には『靜御前』『物思ひ』『渡船』等がある

小林萬吾畫伯

下手人は強盜 前科の支那人

鳥致院の米穀商殺し嫌疑者逮捕

去る二月二十六日鳥致院の米穀商橫山庄作を殺害し金品を奪ひ去りし殺人事件は其後鳥致院憲兵分遣所にて捜査の結果此の程同分遣所坂本伍長の手により公州論山間のある農家に潛伏せるを逮捕されたり犯人は自稱天津生れの支那人張玉祥(三)と云ふ強盜犯懲役三年に處せられたる前科者なりしと目下搜査上蹇支の爲に詳細なる報道の自由を有せず追て詳かに報道することあるべし(鳥致院)

傳染病續出

昨今の天候に關係あり

京城にては目下パラチブスと腸窒扶斯とが稍增加しつゝあり發生患者の多き日は一日に十名內外の屆出であり又再歸熱患者も幾分ある模樣なるが特に昨今の天候は病菌の傳播に關係多く蠅蚊の繁殖期とて京城府及び各隊署の衛生係員は是等防疫の爲めに忙殺され居れり

子供殺しの舊惡露見

詐欺で檢擧されたる便利屋の罪

原籍靜岡縣引佐郡奧山村大字狩宿第六番地平民當時平壤櫻町百十一番地便利屋業世田龜太郎(三八)は曾て鄕里に於て質屋營業中同地駒屋に來り穴椿の質買を爲し昨年一月前記平壤櫻町に來り便利屋を初めたるが同人には明と稱する一人の子供あり當時鄕里より父を尋ね來りたるが龜太郎は無情にも我子を虐待し一月十四日夕飯の際何かのことに

▲腹を立て 明の頭を强たゝか打ちたるに明は其れが爲め死亡し當時其儘葬式を濟ましたるが本年一月龜太郎は平壤泉町質屋業柳原某方に赴き娼妓向お召の羽織外二點を買ふと稱し代金未拂の儘借出し該品を大和町の村上質屋に持行き賑町美人樓娼妓こりんの

▲質借りし 其金を費消し更に此手で村上方よりお召の女裕三枚を美人樓町奴の品なりと稱し前記柳原方に至り十八圓に質入れして費消したること平壤署寺町刑事の知るところとなり取調べの末前記子供殺しも自白せるより平壤署に於ては同人に對し毆打致死詐欺取財事件として目下嚴重取調中(平壤)

本町鍾路兩警察協力して市中の魔窟を一掃す

兩署に引致されたる惡樓主賣春婦七十二名

◇中には十三歲の少女あり無籍者あり◇

京城にては昨今地方からポット出て來た若い女や、或は花の都として京城を憧憬れてゐる鮮婦人の虛榮心を挑發して不良の徒が巧い誘ひ出し散々弄んだ揚句には例の曖昧屋に賣飛して身の代金を懷にして逃げるといふ謀計の罠に掛つて悲慘な境遇に陷つて居るものが著しく殖えた形跡があるので本町鍾路の兩警察署では十日各管內の娼家飲食店等を一應臨檢して見ると規定の年齡に達してゐない悲いのは十三歲の少女をして

▲客に侍らせ 居るものを初めとして或は民籍の判明してゐないものや、家人の承諾を得ず身を賣られてゐるものや、鑑札を受けず稼いでゐるものや、其の他相當取締りの網を潛つてゐる娼婦、と之れを抱ゑて營業してゐる樓主とを各警察署に引揚げたが本町署に引致された樓主と

▲抱へ女とが 七十二名あつた、しかし取調べの結果年齡不足のものや誘惑されて來た女は惡く親元に送り還し其の結果樓主二十一名は各拘留二十日、賣春婦三十一名は同三日の卽決處分に附して留置した爲め本町署の留置場は俄かに五十餘名殖ゑてゐる、尙鍾路警察署の分は十七名ばかりあつたが同署では尙引續き檢擧すべき模樣である

貨物拔取車掌 廿九名檢擧

大阪下關間にて鐵道院車掌等二十九名が六十七回に亙り貨物を拔取りし事岡山縣下にて發覺檢擧されたり(大阪特電)

債券取締峻嚴

違反者は申込人販賣人とも嚴罰に處せられん

大阪にても今回債券販賣取締に決し今後の違反者は販賣人、申込人の双方共懲役に處せらるゝ事と爲りたり(大阪特電)

◉入梅 十二日梅雨期に入る

學生相撲大會

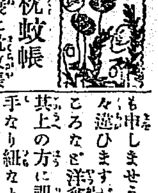
京城中學校相撲部にては來る十三日午前十一時より學生相撲大會を催す可しと

お伽巡禮 (八) 涙光生

□大郞□

◇野に寢たり山に寢たり、またある時は人の軒場に寢たり[illegible]

婦人と小供



便利な枕蚊帳

▣赤ん坊の晝寢に枕蚊帳の欲しい時季が參りました、枕蚊帳は以前は淺黃色の四角なものに限られ、た二つ折につて居ましたが夫も不用の時は仕方が無かつたものですが、こしておくより外に仕方が、のはパラソル式とで

も申しませうか、形は少々違ひますが折疊んだところなど洋傘ソックリで其上の方に覗いてゐる把手なり紐なりを引つ張ると自然にパッと開くやうになつてゐます

▣だから使用するにしても仕舞つておくにしても却々便利、從來の蚊帳のやうに不用の時でも小さく折疊むことが出來ず場所を塞ぐやうな憂ひはありません、骨組は金屬と竹との二種類ありますが金屬の方が丈夫で爲めになると申す迄もありません

▣地質にも木綿、寒冷紗など種々ありますが昔のやうに淺黃に染めたものは少く、大抵は白地に桔梗とか菊とかをアッサリした墨繪で描いた洒落れたものです

▣値段は蚊帳の大小、地質の善惡、骨組の種類等によつて無論相異がありますが、縱四尺、幅一尺五寸位の本綿で二圓三四十錢位のところが一番好く賣れる相です、これから一周り大きくなると三圓以上、竹骨のものは鐵骨のものに比べるとドレでも二三十錢位は値段が落ちるやうです(市內某商店調べ)

◇女子體育の發達をはかるために近來放課後校長自ら生徒に交じりて自由體操をなさしめ一方袴の下を結びて見苦しき事なき樣注意せる既に世人の知る處で大に見るべき價値がある、小學校も近く講堂など建築の筈にて次回の巡回までには落成せしめたいものだとは校長のお話、九時開會講習五年以下約九百名に三時の講演をなす

◇上一時よりは六年生高等科、女學校の七百名に二席を語る、道長官以下道及府の參與官來臨するあり大體前に十二時午前の席を濟ませた、旅館に歸つて晝食を終れば既に一時二十分、[illegible]普通學校に[illegible]道長官は[illegible]府道視學[illegible]

◇普通學校は三百名位にして非常な滿足の理[illegible]

讀者文藝(一等には五十錢の圖書切手を呈す)

▲下句付『初夏らしい』

○セルの單衣の仇姿(一等) 仁川本町四丁目下部方 矢谷 北翁

▲匂ひの洩る、青簾 龍山 多美郎

▲セルの女が多くなり 京城 黃 蕉 坊

▲金魚賣る聲れむさうに 仁川 [illegible]

▲窓にアカシヤの散る金宅 龍山 秋 芳 子

▲水打ち子の着裝 京城 樂 海

▲頭に浮かぶ旅の事 鐵南浦 紫 峰

運動界

▼鑛務軍勝つ

總督府鑛務課對醫學專門學校の野球試合は九日午後訓練院グランドに於て擧行せるが鑛務軍は初舞臺の事なれば果如何と氣遣はれしも多賀谷技師鑛務軍の爲に應援團を率ゐて聲援努むるあり醫專軍亦之に應じ愈々午後三時小坂部君の球審にて開始第七回迄に鑛務五點を勝越し大局既に決せりと見ゐたるが第八回攻び最終回に於て醫專軍猛然立ちて掉尾の勇を振ひ四點を恢復し挽回の氣勢鋭かりしも及ばず遂に十一對十にて鑛務軍の勝利となれり

▼徽新零敗す

徽新學校對京城俱樂部野球試合は八日午後四時より訓練院グランドに於て徽新の先攻にて開始され京俱軍二回目三點三回目二點五回目五點を得しも徽新軍得點なく猛烈に奮鬪努むれども遂に零對十六にて徽新軍敗せり

▼三井勝つ

九日日曜明治町三井物產コートに於ける庭球戰は午前九時より東亞選手對三井選手の對抗戰午後四時より京城醫師團對三井選手の試合あり共に三井方の勝となれり

▲志岐信太郎氏の奉祀に係る漢江神社は櫻頃一寸紹介しておいたが漢江橋の開通以來頗る好影響を受けて參拜者が多くなつた▲中にも漢江の中の島に住む某は五六年前から難病に罹り藥石の効もなかつたので▲此上は神信心に依るの外はないと日夜漢江神社に參拜した處効驗顯かにして二三箇月すると健康も次第に恢復したので漢江神社唯一の信仰者となり今でも熱心に日參して居るが▲鷺梁津のある茶屋の主婦さんも稼筋の念願を遂したとかで此漢江神社を尊崇する事甚だしく每月必ず參詣するとか▲斯樣に信仰者が增ゑたので志岐組でも大いに喜び今後は境內の四時の眺めを善くすべくいろ〳〵な花卉類を植ゑ込むさうである

讀者文藝課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚每に雅號又は名の外に住所氏名朝記の事▲[illegible]

商況

兵庫期米

十一日前場 寄付 二十五圓五十六錢
二節
三節

大阪株式特電

銘柄	十一日前場引	十一日後場	前日比
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	[illegible]	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	[illegible]	─
[illegible]	[illegible]	[illegible]	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	[illegible]	─
[illegible]	[illegible]	─	─
[illegible]	[illegible]	[illegible]	─

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

限月	十一日後場
六月限	三〇、七九〇
七月限	三〇、八四〇
八月限	三〇、八〇〇
九月限	三〇、八九〇
十月限	三〇、八八〇
十一月限	三〇、八五〇

雜報

十一日前場 寄付 [illegible]

正米高氣配

米筋の原料難は旣報の如く[illegible]

比較的商內進

多少引締り

氣味或は尙一引

浪華板又昂騰

浪板二十萬の[illegible]

平板アボロ十錢方引上

洋紙底强し

行尙概して割安

雜穀類不商內

二十錢安氣配

小豆强く

皮革類不味

ボックス皮の殘品

象皮硬化の傾

淸酒先高見越

古酒に比し二十五錢の上値

外値上一圓內外

ショーベル暴騰

四圓方の暴騰

白米は鈍狀

市況軟味の傾

肥料糠氣直る

空瓶下落す

下關相場

▲朝鮮米は底强し 其後白米[illegible]

南大門の廻穀

仁川正米

▲一萬石大阪小西某の受米

▲某と建値二十三圓にて賣買成立

釜山穀物(十日)

仁川期米

▲十一日前場(下泣ろ)

▲大阪の大下放跡更に暴落移り

▲更に六十七錢と暴落

▲寄付二十五錢安に

▲買物多く八十四錢と跳返し

▲新規賣物多く暴落

▲大阪跡更に安

▲强氣筋の買防

▲限に對する渡し米

市場雜觀

仁川米豆取引所

十一日の八月限

仁川米豆取引所仲買人 志 仲買店 電話二八二長二八三 電略シ又は(カクシ)

仁川米豆取引所仲買人 十 仲買店 仁川海岸町三丁目 電話 四〇五番 三〇六番

靑物小賣値

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町[illegible]

仁川米豆取引所仲買人 [illegible] 仲買 京城[illegible] 電話[illegible]

(十一日) [illegible]

十一日 日米

者にて先限二十二圓八十錢と二錢安に寄付七十七錢と押し八十一錢[illegible]

二十二圓七十九錢 二十二圓七十九錢[illegible]

仁川期米

十一日後場 大阪週止め二十五圓六十錢後寄末

[illegible]

朝鮮米の八月限 後場寄付

[illegible]

入港 新潟丸 一等（十二名）二等 五十一名 三等（百九十五名）

十日午後釜山入港對馬丸 一二等客

[illegible]

▲京城日報＝お伽講演會＝釜山に於ける光景

此の寫眞の上の方は吾社の御伽講演隊一行が釜山日韓部の自動車で府廳及び鎮海要港、釜山日報社、鐵道ホテル等を訪問して吾社の東本願寺へ着いた時（九日午前十時）の光景で又下の方の寫眞は同寺の本堂で講演をしてゐるときの光景であります、演者の渡邊氏が壇上に立つと滿場の可愛らしき坊つちやんや孃ちやん乃至附添の父兄母姉の方々は水を打つたる如く面白い講話に耳を澄まして聽き入れて居りました、此講演が終ると一行は再び自動車で釜山驛の鐵道倶樂部に於てまた〳〵面白い講話をいたしました（釜山）

◎鮮米の聲價

◆優に內地米に匹敵す◆

今に鮮米は內地米を壓倒すべし 仁川米豆取引所主事 平岡宇太郎氏談

朝鮮米の改良と云ふ事に就ては內地在住當時から頗る趣味を以てそれに携はりたいと窃かに希つて居た位ゐでした、鮮米の聲價は今や優に內地米に匹敵するので內地の生産者に於ては實に一勁敵として鮮米の前途には多大の注意を怠らぬのであります、私の內地在住中嘗て悩んな事實に逢著した事がある、それは今から四年許り前作州即ち美作には御承知の通り神戸大阪の唯一の供給地として年産優に三四十萬石を出だす精米同業組合と云ふのがある、處が相場の關係上一度鮮米が輸入せらるゝ樣になつて大阪の需用は一轉して作州米から鮮米に移つた、勿論價格の開きがある上に品質亦比較的上格にあるので

忽に作州米を壓倒

するの勢ひとなり大ひに鮮米の聲價を揚げたのであつた、此時私は鮮米に就ては多大の趣味を以て迎へ神戸大阪間に往復して盛んに鮮米に就ての檢査研究を行つたのですが其時の精米は實に雲泥の差がある、即ち鮮米は悉く磨擦機に依つて精白せられたのであるが作州に於ける精白の方法、さうでない由來山谷の地で其悉くは水車を利用して精白にするのである然も習慣となつて磨粉を混じそれのみならず白面を好くする爲めに

白粉粉と云ふのを

混入する之れ白面許りの爲めでたく一つは桝目を增すの手段であるが今以て作州は此の慣習を脱しかい、之あるが爲めに其の精白の眞價に至つては鮮米は實質に於て遙かに作州米を凌駕して居ると云ふ事實が證明せられた、此の時から私は更らに此の上朝鮮米の改良と云ふ事に就て如何に向上せらるべきものかと尠なからず興味を持つてゐたのです、現今に於ては鮮米は實際に於て內地産米に

優るとも劣らない

現に東北産米の例の臭味ある米に比較すると鮮米は遙かに數等の上である唯今日鮮米の上に於て値違ふと云ふのは從來鮮米に對する感念が尙ほ克く內地人に了解されてゐないからで實際の需要に至りては到る處內地産米と同等の値に捌いてゐるのは事實である、私は今回渡鮮の砌り釜山に於て一泊した、當時旅館で喰つた一椀の飯が特に私に美味く感せられたので何處から來た米かと旅館に尋ねると旅館では遂ひ市內の某米屋から買つた所謂地米ですと答へる私は

態々其米屋を訪て

産地を訊してみると矢張りそれは朝鮮の産米である事が明確になり寧ろ鮮米の內地米に優つて居る事の實質に感じたのです斯の如く北を痛切に感じたので既に內地米を凌駕する處のものがあるから將來內鮮間に於ける輸送の途がより容易且つ圓滑に進轉し定期の繋ぎにも尙ほ從來の僻見を廢して其の實質に見るに至つた鮮米は近き將來に於て優に內地産米を壓倒するの時機が來るだらうと信じます（仁川）

◎土耳古煙草

◆平南産業界の福音◆

歐洲戰亂勃發以來土耳古産葉煙草の米國輸出禁止の狀態に頻も斯界に大恐慌を來したると共に米國に於ては紐育エス、シーディー會社經營の下に各地に該葉の耕作を行ひ相當の成績を收めつゝあるも尙且充分なる需要供給を爲し得られざるより種々調査の結果朝鮮の土地は氣候風土一般該葉耕作地として適當なりと認められ茲に東洋拓殖會社へ土耳古種葉煙草の耕作栽培を依託し來れるを以て同會社に於ても種々研究を重ね大田其他二三ケ所に於て試作を爲したるに結果頗る良好なるより今回同社の市岡技師及び大田專賣課出張所長青山技手の兩人は來壤調査の上平壤地方に於ける地質の該葉煙草に好適せるを確め其試作として平壤高等普通學校實習地一畝歩餘に耕作するに決し種子は大田專賣課より供給を受くる豫定なるが此試作の結果にして良好と認められたる上は明年度に於ては大々的耕作を行ふべく計畫として朝鮮に三千町歩を或は其大半以上を平壤に吸收するや圖られず頗る有望の事業たれば之が實現と共に平南産業界に一大福音を齎すと共に新記錄を作るべしと（平壤）

●旅客と目的＝例の企業熱

新義州の內鮮人旅館へ泊つた五月中の泊り客は內地人四百八十三名、朝鮮人一千五百三十九名で而かも是等泊り客の過半數は殆ど企業家で何れも事業企畫の目的であるとのこと（新義州）

◎土地熱＝昂る

北朝鮮の山奥で

只同様の砂地が坪二三圓に

淸會線の開通と又た一面に白豆、其他農産物價格の騰貴等に依り近來北鮮各地の地價は著しき騰貴を來したるが殊に將來の發展地を目さるゝ地方の地價は一層の昂騰を來し淸津市街の新發展地たる浦項洞の如きは山の手は既に鐵道工事開設當時に於て內地人有力者に買占め行はれたるが昨今にては輸城河に沿ひたる河畔の土地賣買が盛んに行はれつゝあり內地某大資本家は約五十萬坪を買收せるが之れ將來の淸津築港を見込みて爲せしもの、如く斯く土地熱盛んなる結果從來殆んど無價値なりし砂地の四五十錢乃至二三圓を唱ふるに至れり、尙ほ淸津地方の土地熱は輸城附近にまで及び買收行はれつゝあり、又た慶興郡雄基灣附近は過般艦隊の入港及び近來文武大官の視察者頻々たるより軍事的何等か施設行はるべしと風聞されし結果淸津雄基地方內地人の買收に赴くもの多きより地價暴騰し之れ又た無價値なりし土地の一躍二圓內外を唱ふるに至れり（淸津）

◎手押式輕鐵を汽罐車に改めて

◆愈々開通すべき間島の輕鐵◆

間島輕便鐵道布設は支那政府より布設權を得たる事公にせられしより今にも敷設さるゝ模樣なりしが吉會線の踏査と其他の事情より一時躊躇の風評ありしも最近に至り確實なる向よりの傳ふる所に依れば同輕鐵は愈々敷設に決定し最初の計畫なる十二ポンド手押式の輕鐵を改め二十ポンド軌條を用ひ小汽關車を通せしむる事となり近々敷設に著手すべしと（淸津）

◎野生除蟲菊

平安南道陽德郡一帶草生地に除蟲菊の自生頗る多しとの事に就て道勸業係に於て實地調査を遂げたる結果至藥多く適確に判明せざるも尙調査の上若し眞正除蟲菊たるに於ては平安南道の特産物として相當に有望なるものと云ふべし（平壤）

仁川五月貿易額

仁川稅關に於ける五月中貿易額は輸移出合計九十六萬一千九百二十六圓輸移入合計三百十六萬八千二百十七圓總合計四百五十三萬百八十三圓なるが輸移出品中主なる品目及び價格を聞ぐれば米六十三萬八千三百十四圓、繭十五萬四千百六十七圓大豆二萬八千八百九十三圓魚類九千九百六十七圓肥料九千四百九十一圓海苔五千九百三十一圓皮革製品一千八百六十圓其他の雜品十一萬二千八百七圓之等の合計九十六萬一千九百二十六圓にして輸移入の主なるものは支那麻布を第一として其價格百二十四萬六千四百六十六圓生金巾及びシーチング十六萬一千四百十六圓砂糖十萬七千二百七十四圓綿織物十三萬三千四百七十圓鐵釘九萬七千七百三十四圓燐寸及び附屬品九萬二千八百三十七圓食鹽八萬六千四百九十九圓石炭七萬四千十五圓晒金巾及び晒シーチング六萬六千二十八圓セメント五萬五千百七十諸機械類五萬三千九百六十五圓紙類三萬七千二百十八圓麥酒三萬三千三百三十七圓小包便物七萬九千八百七十五圓其他の雜品七十九萬一千百八十六圓其他にして之が合計三百五十六萬八千二百五十七圓なり（仁川）

商況＝南鮮

新案共同販賣

◆北道と指定購買者の指名◆

忠淸北道に於ては從來生繭時期に至らば多數の奸商入込み生産者を瞞著して不正の利益を貪りつゝある弊を避けんがため協議の結果新規なる方法により共同販賣を斡旋する旨布達せり其內容に至りては今回販賣出所を指定し出廻石數を見込み指定購買者を指名し繭代金は現品と同時に契約保證金として道の指定に仍り購繭者より納付せる金額中より販賣擔任者之れが支拂をなす擔任者は所在地の郡守にして見込絲量別等級をも決定す而して生繭等級は特等及び一二三四等、等外及び同切繭の七級とし同切繭を除くの外見込絲量を有する標準を定む（淸州）

淸州出廻石數九六〇石、沃川同五七〇石（以上忠北）永同、同〇〇石、陰城同八〇石、淸州一一八〇石（以上群山松岡誠吉氏日本輩）

見込絲量別等級

等級	一升繰絲見込	等級	一升繰絲見込
特等	一二匁內外	一等	一一匁內外
二等	一〇匁內外	三等	九匁內外
四等	八匁內外	等外	七匁內外

◆忠南洪城地方◆

本年より生繭にて共同販賣することゝなり十二日より約十日間の期間にて既に各商人へ夫々通知を發したり同郡の蠶業は良好にて殊に郡の利を占めたる土地なるが最附近各郡より多數の出廻り少なからざる見込にして三百石に達すべしと云ふ（洪城）

◎兒童遠征團

◆間島より北鮮各地へ◆

十一歲より十三歲の少年少女

間島公立小學校三年生以上六年生まで男女十三名の學生は遠藤校長に引率され去五月三十一日間島出發新興坪會寧に宿泊三日夕淸津に著し四日市中各所を視察し五日羅南に向へるが羅南鏡城を視察し八日淸津に引返し歸間の途に就く筈なるが間島の山中にありて文明の事物に接せざる事とて何れを見ても驚嘆の目を見張り多大の效果ありたるものゝ如しと（淸津）

◎新百合と松茸 本年度新百合根の走りは大阪より平壤に入荷、相場百匁八十五錢見當なり又松茸は昨今入荷頗りに多く百匁一圓四五十錢見當を稱へ居れり（平壤）

◎アカシヤの花を喰ふ子供の腸胃

◆樹皮に劇烈なる毒素を含む◆

初夏の森影にはアカシヤの花が白蝶の樣に眞白く咲き亂れてゐる、甘い薬を透す風が渡ると此頃では其れが地上にバラ〳〵と散る朝鮮人の子供は不思議に此の花を好いてよく何處に行つても喰べてゐるのを見るが近頃其の味を傳へられたものか內地人の小供でさへ美味しさうに喰ふ樣になつて來た

香りこそ無けれど甘い美しい花

噛めば成るほど妙な一種の甘味があつて成る程鮮人などには好きさうな味である、處が此のアカシヤの樹の皮は非常に强烈な毒素を持つてゐるのでそれを牛馬にでも與へると瞬く間に極度の疲弊を覺ゆると云ふ毒味のものである事が先年發見せられてゐる、尤も

花には毒素を含むでゐないが

之が爲めに胃腸を害する事甚だしく遊びに出た小供が家人の知らぬ間に人の手似しては胡藤の花を喫むで遂ひに劇烈な胃腸病に罹つたなどは決して少くない近頃の流行である、何にしても喰べるべき花でない一般の親御達は注意がある好いだらう（仁川）

<table><tr><td>

京城日報 お伽講演

十三日 江景 公立小學校 前十時
十四日 裡里 裡里座にて 前十時
十五日 全州 公立小學校 前十時
十六日 井邑 公立小學校 前十時
十七日 光州 公立小學校 前十時
十七日 松汀里 小學校 後三時
十八日 羅州 公立小學校 前十時

</td></tr></table>

◇第六回公開◇
新派悲劇血染の模樣
ミラの秘密
割引入場料 一等卅錢 二等廿錢 三等十錢
普通入場料 一等四十錢 二等三十錢 三等十五錢
京日讀者優待割引券
活動寫眞 黄金館
日時 六月十日より十三日迄午後六時開場（一枚二人共通）
京城日報社

腦神經病に罹れる人さま〴〵の煩悶

▲されど悲觀する勿れ
▲暫く歎を止めて讀め

◎我は藝術家である

然り私は藝術家である。新しい思想に基く新しい技術、人は漸く私を認め初めた。不斷の研究更に一層の努力を要するの時、不幸腦神經衰弱は私を襲つた。頭は亂れ、技は荒んだ、私は世間から葬られんとした。思へば慄然とする。若しあの時、「村岡醫學博士」の腦神經良藥健腦丸に頼らなかつたら……。私の頭は恢復した。技も進んだ。不幸は永へに去つた。私の藝術は健腦丸が甦らせたのだ。

◎僕は學生である

そして僕は落第生である、私は腦神經衰弱の爲に學期の一年を後れた、病の爲に殘念であつた、併し僕の救の神は出現した、日く健腦丸である。健腦丸を服用する事一箇年、僕の頭腦は明晰を増し、記憶力が強ね、元氣が出で頭痛や不眠や、逆上や、耳鳴や神經衰弱の惡徴候は拭ふが如く消え失せた。そして優等の好成績を得た。

◎我は實業家である

神經過敏、商機を見る事を誤り頭腦が何時か疲れて了ふ如き頭腦は疲勞を増すばかり。腦は増す、あゝ我が否、天は私を捨てなかつた！健腦丸を用ふるや頭痛、不眠、便秘、逆上、耳鳴も何時かなくなつた。私は再び活動の場に立つた。今日の成功は一に健腦丸の賜である。

◎我は官吏なり

二級俸の月給取である。何う云ふ役所の關係か、仕事に拔擢の機會になつても、頭が惡く、倦怠く、仕事が出來ないと上官に睨まれる。同僚には笑はれる失態百出、全く日頃の大酒からの腦神經の故だと解つた。早速健腦丸を常用したお蔭で氣分も爽快となり、怖ろしい腦充血や卒中も未發に豫防が出來頭腦明快、今度は二級俸受合だ。

◎僕は健腦丸である

僕は醫學上に於て模範的と稱せらるゝ斯界の新進で、幾多の專門藥學者が最新高價の藥品のみを配伍して嚴重なる監督の下に調製された腦神經特效藥である。僕を愛用する力は腦神經衰弱症は素より、腦充血を治し、恐る可き中風卒中を未然に豫防し、逆上頭痛、便秘、不眠等を除去し、記憶力を増進し、頭腦を明快ならしむる作用がある。實際僕を一週間も連用して見れば其の效果は屹度了解せられるであらう。僕の定價は四回分廿錢、半週分四十錢、一週分七十錢から十四週分五圓迄ある。本舖は有名な大阪心齋橋丹平商會、同東京日本橋區本町丹平支店其他全國藥店で取次販賣してゐる。遂に來り給へ。

內科 呼吸器病 腸胃病
小兒科 婦人病
京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三一番

勸業債券月賦販賣禁止に就て
今月七日東京警視廳に於て明治四十二年八月內務省令第貳拾號に基き一般に勸業債券月賦販賣の禁止を被命候につき同日限り新に契約は中止致候然し既に契約濟のものには何等關係無之候間從前通り契約御履行被成下候樣致度此段廣告候也
京城府南大門通三丁目三十二番地
資本金參拾萬圓 日本國債債券株式會社 朝鮮總支部

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓前（電話二〇四四番）
日曜祭日午後二時迄
江頭眼科醫院 江頭富雄

京城本町一丁目江戸川横
岡本齒科醫院

塚原卜傳

第百三席

悟道軒圓玉口演

塚原先生喜こんで 小『是非一泊を頼みたいが貴樣の家は百姓か』○『イエ、親父の代までは商人でございましたが親父が死んで今は母親と兄貴と私の三人暮らし兄貴が旅商ひをいたしまして生活して居ります』小『ハア、でけ病人といふのは母親かな』○『イエ兄貴でございます』小『それは稼人が病氣て嘸困るだらう、何病だ』○『病ひではございません負傷をして寢て居りますので……』小『負傷か、負傷にも依るが切創ならば拙者が妙藥を持つて居るから其れを遣はさう』○『イエ切創ぢやアございません、相撲を取つて投り出されて腰の骨を折つて了ひたのでモウ助からないとお醫者もいひました』小『ナニ相撲を取つて投げられて其れがために腰の骨を折つた、ウーム危ない事をしたものだな、また商人が相撲を取るなぞとは心得違ひな若氣の至りであらうが、向ふ見ずだから負傷をする、しかし母親も嘸心配であらう』○『イエ決して向ふ見ずといふ譯でもございません、お武家樣ですからお話しますが私の兄貴は元相撲が好きで親父に勘當され少時田舎廻りをして居りました商賣人でございますが、親父が死んでから家へ歸つて來て相撲を止め今でも小間物商ひをして居ります』小『ハア』○『所が恥しい次第でございますが貧乏で親子三人喰ふ事へ事缺の仕末、所へ此盆までに家來に借りたお金を返濟さなくてはならぬといふので兄さんが心配をして居た矢先き、此江戸の神田の明神樣の境内で今度勸進相撲が初まり、何んでも伊豆の方から來た熊五郎に稻妻の庄太といふ二人の相撲取、其外に大勢居りますが其二人が滅法界剛い男で之れを負かした者には三十俵の米に金を五兩つけて遣るといふ約束で此十日から取組を初めて居りますが誰も勝つた者がございません』小『フム』○『スルと兄が聞いて自分も因は相撲取だからいくら剛いといつても先は伊豆あたりの田舎相撲大した事はあるまいから一番其二人を取つて投げて三十俵の米ド五兩の金を稼取つて來るといつて母親の止めるのも肯かずに飛出して往つて取りました所がどうして那な兄貴の力には及ばず其弟分の稻妻に投げられて土俵の外に轉がる機勢に遂々腰の骨を挫いて了ひ米俵どころぢやアなくつて戸板へ載つて歸つて來まして其れからドツと寢て居りますが固はといへば兄さんが貧に迫つて母親に樂がさせたいばかりに、慾に迷つたのが初まりですから氣の毒でございます』小『ハ、ア成程、それは氣の毒だ』○『兄さんがそんな工合で喰べるに困りますから私が近所の使をしたり何にかして係うして歩るいて居りますが、そんなやうな譯ですからお武家樣をお泊め申しても御著せ申す夜具もございません』小『イヤ決して心配するなウム憎くい奴は其稻妻とかいふ相撲取りだ、元來相撲といふものは力づくの勝負、金錢賭けてするものではないが、そういふ事をする奴であつて、大方柔術の心得があるから、逆手を用ゐたものであらう、貴樣の兄は相撲の手は知つて居ても柔術體術を知らぬから負傷をいたす、思へば不憫な男だ、宜し明日にも拙者がその相撲場へ赴むいて對手の相撲を取つて投げ、貴樣の兄の恨みを晴らして遣はすから安心しろ』○『お武家樣、それは本當でございますか、兄貴や母親が聞いたら嘸喜こぶでございませう、ア、有難うございます……こゝが私の家で汚なうございますがお上り下さい』と小僧は氣輕に先きへ飛込んで母親や兄に話しをする、母親も喜こんで小太郎を奥へ案内いたし、見るも憫れな貧家でございますが町醫に待遇すので小太郎は反つて氣の毒に思ふ

皮膚科 黴毒科 専門 外科
京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

曆

六月十三日 九星
舊五月五日 辛卯
木命 九紫 南納 先負

▲九紫● 成曉論の事有日新事見合西方は吉昭 ▲一白● 若嘘(くする事有日新事、[illegible] ●二黒● [illegible] 事は吉女子は心を美に持るべし ▲三碧● 大失の日男子は高職に就き女子は思はぬ良縁を得る笑共進で利有 ▲四緑● 評判よき日轉居旅行入學名 ▲五黄● 命件求職、船婚、婦人容業、旅行入門名、出求職 ▲六白● 一寸一ぱい喰は發子女を定る等萬吉 ▲七赤● 不穏な事有日新事手控ふ事は吉青物に用心せらるべし ▲八白● 祠ノ、舞日轉居賦紹介せぬがよし [illegible]

演藝案内

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番
六月九日より開演 京阪落語々樂會一行
△落語(小遊)▲落語物まね(遊玉)▲落語手踊(遊玉)▲各語音曲(笑三)▲落語音曲(花輔)▲浪花節(水戸黄門)(幸二)▲落語手踊(右園)▲大切喜劇(一座總出)

大正館

櫻井町 電話八七三
當る六月七日より大寫眞提供 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
▲米國キーストン會社作品 ○滑稽活劇『酒で遊び』全二卷 ▲日活向島派尾上松之助一座出演 ○講談『志美十五郎正宗孝子録』[illegible] ○探偵活劇『鐡の箱』七千呎 ○新派大悲劇『女の誓ひ』全三卷 [illegible]

壽館

京城本町 電話一〇五〇
水らく道具新調に付休館致候處々客成致候に付明館の有名な歌舞伎中村梅昇一行を招き來る、月十二日より開館致一座若干連大車輪を以て御高覽に供し候 初日藝題 義經千本櫻 前狂言 切狂言 [illegible]

黄金館

電話二六三七 二六六
天然色活動寫眞株式會社京城出張所一手代理店
當る六月八日より特別興行
▲喜劇キユピツト ▲活劇宮本武藏 全四卷 ▲米國ホワルトン會社作連續冊一卷の内第六回『ミラの秘密』 ▲新派悲劇『血染模様』全四卷 [illegible]

壽座

京城壽町 電話五七八
日本歌劇協會一行 當る六月八日より二回替盤題 午後五時開演
△歌劇『女軍入出征』一場 △翻譯歌劇『暗の家』三場 △喜歌劇『血の様な椿』一場 ▲諷刺劇『良人』一場 佐々紅華氏作 [illegible]

有樂館

電話(第十五番) 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 北京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴアーサル會社特約
當十一日より公開(今回より普通料金) ○社會活劇『瓜二つ』全五卷 [illegible]

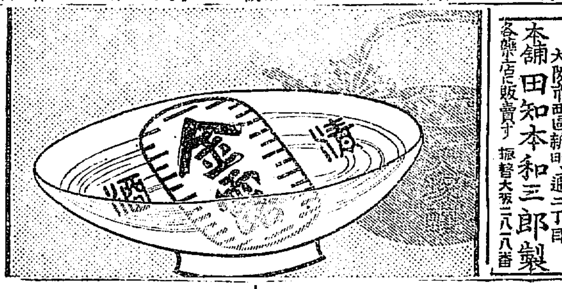
質 (大口歡迎) 黄金町長谷川入口 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

一品 天下 書風頗る珍妙 趣味絶妙 浮世繪 但七十錢 古代現代の數種粹品目録は參錢切手五枚送付の方へ寄送す 大阪北區與力町武丁目 白水社

新荷著 スイス製 懐中時計 アンケル形 機械 (▲印はラヂユーム入) 本店京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッソー商會 時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商

日本及歐米十三ヶ國專賣特許 胃腸最新藥 チゲスチン 食慾が進まない時に食慾を促さ 元氣が衰へた折に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の増進と體量の増加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈 東京本町 藥種問屋 岡城商店

ヨクキク! ひぜん 芳香ひぜん水 大阪市西區新町通二丁目 本舖 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番



男女 強壯劑 GOSPEL ゴスペール 陰萎にゴスペール本劑は肉體の營養強健主眼として植物性補腎等の劑にして其主効は生殖器神經に作用し左記生殖器障害に實試上日カな陰萎增勢藥なり今直に用ゐ一回用法僅に二錠 適症 神經衰弱性陰萎精神的陰萎 衰弱性射精・早漏・夢精・遺精 (藥價)九錠入金一圓 三錠入五圓五十錢 竹島製劑所 吉田萬珠 [illegible]

診察時間 自午前九時 至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町二丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

入梅の御用意 肝要
商標 登録 藤澤樟腦
定價(小形)五錢(中形)十錢(大形)十五錢(罪石形)二十錢
各地藥店にあり

赤玉ポートワイン
朝めの一杯百藥に優る!!
七大醫學博士の賞讚と證明を有する
美味滋養葡萄酒 赤玉ポートワインは
血を増し肉を肥し元氣を盛にするには滋養豐富な藥効的の葡萄酒に依らねばならぬ事は歐米各國の醫學大家の證言である然も數ある葡萄酒中で諸君は最も滋養豐富品質優良なる者を擇探せねばならぬ赤玉は此點に於て既に七大醫學博士の讚明ご賞讚のある名産共に全き模範葡萄酒で多年の實驗ご學理を應用し到底他品の模倣し能はざる特別醸造法に據る葡萄酒である健胃補血興奮強壯の効顯著なる點に於てすでに大賢方の藥局に於て滋養藥餌として採用されつゝある模範葡萄酒にて加ふるに天然の美味を保有し居るが故に婦人小兒の口にも適する一般家庭に常備すべき葡萄酒である
赤玉ポートワイン 赤玉生葡萄酒 代理店 辻本商店

於東京化學工業博覽會 金牌受領 最上醬油 釀造元 日本醬油株式會社

京城日報
第五版
六月二十日朝刊 (朝夕刊を併せて八頁)
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 小川三之介

北米合衆國の地步

京城日報

昨年四月北米合衆國參戰以來既に十五箇月を閲みし、米國政府は民と共に戰鬪準備を急ぎて、最大努力を致しつゝあれども、未だ其の效果を見はすに至らず、又去三月下旬[illegible]西部戰線[illegible]を振うて急攻[illegible]を制し[illegible]米國[illegible]にして英佛軍[illegible]して此度の攻擊を受けて能く自ら支ふるを得ば、遂に米軍の至るを待ちて相提攜して獨軍を粉碎するの功を全うす可し。

乃ち獨逸が多大の犧牲を忍びて急攻力進せるは、其志一つに米國を虞るにありとせば、彼は西部戰線の事に從ふと同時に、頃刻も米國の出師を妨ぐることを忘れざるなり、過日來の外國電信は獨逸潛艇米國大西洋沿岸に於て船舶を襲擊したることを報じ、剩へ當局者は、獨逸航空隊襲米の虞ありとして紐育市民に夜間燈火を命じたる[illegible]と云ふ、獨逸は[illegible]號其他の[illegible]大なる潛航巡洋艦を造りたりと稱し、又若干假裝巡洋艦が出沒せるものありと云へば、米國沿岸に於て船舶襲擊を企つるが如きは固より有り得べきの事にして、何人もこれ有るを怪まざれども、獨逸航空隊が紐育市を襲ふといふが如きは果して根據ある推測なりや、此の如きは獨逸が墨西哥若くは他の羅典亞米利加諸地の中に根據地を有するにあらざれば爲し得べきの事にあらざるなり、吾人は嘗て獨逸が墨西哥中米諸地に手を廻して、種々の陰謀詭計を試み居ると聞けり、併しながら此邊に根據地を形くりて、これより航空隊を發縱するといふが如き事ありては、米國人は即ち臥榻の下に他人の酣聲を入るゝものなり、吾人は斷じて此事なきを信せむと欲す。今日佛國戰線の戰鬪甚だ急なりと雖も、此一戰にて勝敗を決し戰局を收むるといふが如きは必無の事にして、此夏季は遠からずして其段落を結び、更に後日の爭鬪を待つことゝなるべきは甚だ知り難からず、而して戰を云はゞ戰役を長引かすとは則ち味方の全勝を保證する所以にして、今後一定の時日を重ねざれば、北米合衆國をして其全力を戰線に發揮せしむる能はざるのみならず、獨逸をして其實力を消盡せしむる能はざらむとす、米國民をして全國壯丁を發して兵員たらしめ、一日一億[illegible]して[illegible]に努むる[illegible]投して[illegible]を發揮せずして已まざる[illegible]其本意[illegible]且米國は其兵力は今度新たに作り出さゞるべからずして、其效果は之を實地に用ひて而して後に知るの外なしと雖も、其實力の豐富に至りては則ち天下其に比すべきもなきを以て、自ら鉅額の軍費を支辨すると同時に英佛諸國の軍費を調達して、多々能く益々辨ずるの實あり、我味方にして米國の資力に依る、即ち是れ必勝の算あるものと謂ふべきなり。

臺灣に較べて

朝鮮は總てが大規模

長谷川研究所長 醫學博士 高木友枝氏

今度の朝鮮訪問は醫學會總會に列席し乘ねて朝鮮に於ける衛生施設を視察する爲めである、そこで私は總會終了後直ちに開城平壤鎭南浦其他二三の地を歷訪したが格別所感と云つてお話しする程のこともない、唯だ羨望に堪へないのは單に衛生上の施設のみと言はず朝鮮は事々物々凡てが規模の大きいことである、此點になると臺灣は實にお話しにならぬ程小さい要するに之は

△兩者の世帶 が異ふ結果で爵を換へて言へば朝鮮には金が多いから凡てが大規模に遣れると云ふ事になる世間の人が臺灣には金が多い〳〵と云つてゐるのは大間違ひである、金になる天產物が多いと云ふのなら吾又何をか言はんやであるが金は斷じて多くない、輸移出品中の大宗たる砂糖は一億何千萬斤からの年產額がある、其消費稅だけでも臺灣總督府の收入になれば財源として實に莫大なものであるが之は

△國庫の收入 として大藏省に納まつて了ふから總督府の懷は毫しも肥れぬ、夫では此砂糖の爲めに得た利益は……と云ふと之は又東京阪神地方の資本家の腹を肥すだけで實際に臺灣に落ちるものは此利益を得る爲めに拂つた勞働賃金のみに過ぎない、私は先年[illegible]したことがあるが其際も[illegible]は瓜哇の[illegible]家を肥すばかりであ[illegible]く『瓜哇の護謨園は[illegible]之、同じ意味のことと

△護謨園經營 が臺灣の[illegible]度同じ狀態にあることを語るもので頗る面白い夫は偕て臺灣砂糖に限らず其他の事業も凡て總て有樣であるから事業の盛んな割合に金のない土地である、金がない——之れは臺灣の進步發達の爲め私の常に遺憾に感じてゐる所である、視察上の所感は既に冒頭に於て斷つておいた通りであるが由來此の朝鮮と云ふところは衛生行政上の問題の割合に少いところである、從つて要素は唯だ個人々々について

△病氣を治療 して行けば如いのであるが臺灣は其處に行くと大分趣が異ふ、マラリヤ、ペストの撲滅、ジストマの驅逐等衛生行政上の手腕を要する問題が頗る多い、一體この衛生行政と云ふものは恰度宗教と同じで對者の心に深く立入らねば到底豫期の效果を擧ぐるとは出來ぬものであるが當局の苦心は近來頑な土人の間にも好く徹底したものと見ね苟くも當局が衛生上必要と認めた施設に對しては一名と雖も不服を申立て又は反對を稱へる者がなくなつた、私は之を悉く

△對者の心を 摑み得た結果だとは思つて居らぬが、要するに慈愛風であるから當局の企圖は着々として所期の效果を收めマラリヤの如き今では殆んど其跡を絕つたと云ふ有樣である、邦家の爲め將た又島民の幸福の爲め大ひに慶賀すべき事と言はねばならぬ

獨逸の產業並に商權擴張策(三)

賀田直治

獨逸の將來に關する管見(二)

此上の如く凡ての點に於いて獨逸は根帶的の強點を有し特に今回の戰爭に依り非常の自信と自恃心とを生ずるに至り、其前途や實に端倪すべからず。或は波斯、印度の侵略、又は東漸して東亞の天地に飛躍することなきや、乃至中立國を侵し、他國の既設植民地に侵入することなきや、所謂世界政策の步武を進め、世界の霸者として雄視するの日なきや如何。表に強き主張と決心とを表明する英、佛米の政治家若くは軍人も內心には幾分不安の念を以て、戰局の將來を注視する事情なからずや。何となれば此の際假りに無勝敗の講和を結びたりとするも、今後に於て一國づゝとして獨逸に對抗するを得る邦國なかるべきを以て今後の外交若くば戰爭の危險は到底除却する能はず。結局、強者に屈倒せらるゝの破目に陷らざるか、茲に於てか今回の戰爭は、實に世界分け目の戰爭にして、飽く迄獨逸を敵として容易に再び起つ能はざるまでに持久的戰爭に依りて弱らすの策を講ずべきものに非らずや。故に今次戰爭の將來は容易に逆睹するを得ざるの狀態にありと信ず然るに予を以て見れば、獨逸の強味は從來の如く獨逸に有利なる戰爭持續中は容易に之を減殺せしむる能はずと信ず。何となれば戰爭中は擧國一致の實を擧げ易く、且は戰果の揚がるに從ひ、自信と自恃心とを生じ所謂無怖畏的大膽若くば勇猛となり、又食物の豐富なる露國との講和は、今後の戰爭繼續に於いて非常の便利なること、なりたるを以て、持久的永戰爭に涉ざる限りは戰爭中獨逸を降服せしむることはなか〳〵容易ならざるべし、結局今回の戰局が無勝敗の名義を以て講和となるべき場合あらんも世界の爭霸戰は之より益々開展せられ必ずしも獨逸は世界政策を實現するの將來なきを保せざるなり、只獨逸の強點も元來戰勝に依り若くば世界的野心に依り結合したる國民の一致に立つものにして內部に弱點なきにあらず、而して此の弱點が現はるゝとせば其動機は戰敗の場合否らざれば寧ろ戰後に在るべしと思惟す、これ實に一大問題なり、輕々斷ずるを得ず。若し獨逸にして能く此の弱點を現はさず、駸々として進むことを得るとせば、實際世界の霸權の獨逸に歸するを阻止する能はざらん。若し夫れ左に掲ぐる事項にして、頓挫する場合は世界の形勢は又如何に變化するやも測り難し。實に至大なる重要問題なり。予は茲には單に其問題たるべき項目のみを掲げて、識者の注意を喚起し、指導を仰ぐの資料に供せんとす。

一、獨逸が餘りに軍國主義に傾く爲め、國內に在る社會主義の對抗は如何なるべきか

二、方便は手段を擇ばずとは云へ、露國を操縱するに自國の政治及び主義とは全然相反する過激派即ちレニン派を利用したる結果、今後に於てこの過激主義の傳染することなき乎。現にレニン派は此の點に於て一箇秘密の目的を有するが如し、將來の趨勢は正に注目に値す

三、獨逸のカイゼル主義と民本主義との調和如何

四、目下は世界を相手に戰爭し居る故自ら愛國心も擧國一致も旺盛なるが、戰後之が反動なきか

五、戰後の論功行賞の當を得ることは決して容易ならず、果して如何、其際軍人派の跋扈して、社會上の問題を惹き起すの恐なき乎

六、獨逸の戰後に於ける財政上の善後策如何

七、カイゼルには餘儀なく威壓せらるゝもカイゼルの崩後は統一的中心は如何なるべき乎、又獨逸と墺匈國との同盟關係は戰後も能く持續し得る乎如何

並行線

瀧閑村

六

汽車は幾つかの驛を停つたり通り拔けたりしてひた走りに走る。宜太郎は狹い腰掛の上に窮屈に身を横へた。始めの程は驛の名に耳をも假したが、次第にそれも厭くなつて氣にも留めなかつた。腹は減つてゐるやうだが、さて飮みたくも食ひたくも無い。夜が更けるにつれて寒さが加はつて來たと見ねてスチームが段々暖かになつて來た。空氣枕をしても、頭の心がチク〳〵痛んで來た。室內の話聲もいつか小くなつて、横になつたり仰向いたり、窓に荷物に凭りかゝつて眠る人が殖ゑた。或驛で周衣を著た朝鮮人が一人ソヽクサと入つて來たが、室を間違へたと見ねて、復狼狽して出て行つたが、誰も見返る者も無かつた。

父の死後はどうなるだらう、と云ふ考へが今朝から鉛のやうに宜太郎の胸を壓してゐた。氣の弱い父と人の好いばかりの兄、其周圍を深山の兄の子さ、子育に疲勞れた嫂や、厄介を掛ける伯父や、恐張の伯母がある。無計算な父には無計算が造つた負債もあらう、消息はよく判らないが、最近の生計が樂になる筈は無い、其時分より柱が倒れ、元綱が斷れたら、跡はバラ〳〵に倒れるにきまつてゐる宜太郎の前の腰掛に寢てゐた男が起上つた、途端に宜太郎の枕が滑、落ちた、拾はうとして宜太郎は其男の足を踏んだ。

『是は失敬しました』と詫びた。

『どうしまして』男は顏を擧げて宜太郎を瞶めてゐたが、思出したやうに

『君は池谷君ぢやありませんか』

宜太郎は吃驚して『何方でしたツケ』

『黑田ですよ』と丸い顏に白い齒を出して笑つて『餘り久しいからお忘れでせう』

『あゝ黑田君でしたか、いや失敬しました。』

黑田はまだ工手學校にゐた頃の友人だつた。

『モウあれから十年近くになるから……で君は?』

と黑田は煙草に火をつけて、可懷しさうに聞く。宜太郎は簡單にありのまゝを答へて、

『貴方は?』

黑田はトンと煙草の灰をはたいて『僕は小さな絹織物の會社を持つて居ますが、其商用で哈爾賓迄行つた歸りです。露西亞が穢になつたんで、四五萬損をしちまひましたが、戰爭のお蔭で外で取返しは付きますサ、儲けるなら今です、ね、僕なんか駄目だが今度は儲けた奴が澤山ありますよ。』

と同窓の名を擧げた。久しく故國に遠かつてゐた宜太郎は其名をも忘れてゐるのが多かつた、それらの者=多く學校で自分より出來なかつた=者が今相應な富を作つて、自分はズン〳〵追越されてしまつたかと思ふと、暗い心持になつた。

車掌が入つて來て、浪が高いので明朝は連絡船が釜山を出帆しない旨を告げた。

車中は少し動搖した、困つたしい顏をするもの、急いで下車の仕度をするものもあつた。

『丁度いゝ、東萊の溫泉へでも行つて、君久し振りで飮まうぢや無いか。』と黑田は事も無げに言つた

反響

▲瀧閑村氏の御作を拜見することが出來るやうになつたことを感謝いたします。もと『其の人』を朝鮮タイムスにかいておらした頃は、また私は稚兒でありました。幾分理解力をもつて拜見出來るやうになつてゐる今日は、非常な期待をもつて毎朝の[illegible]を樂しみにします。並に繰返されます[illegible](撫路代)

沙里院地方金融組合登記事項變更
大正七年四月二十八日定時總會ニ於テ定款第二條第八號ノ次ニ組合員ニ非サル者ノ預金ヲ爲スコトノ一號ヲ加ヘ九號ヲ十號トス
右大正七年六月拾日登記
沙里院地方法院出張所

精撰純良 魯桑種子 一合六十錢 一升五圓五十錢 送料不要
尾張大根種子 春及秋蒔
△目錄雜誌次第無代贈呈
尾張名古屋市主稅町 農產館 電話東京一二〇五八番 大阪六四〇一四番 振替貯金

入荷御案内

△米國ウオルサム會社製 拾八金十七石形梨地專賣 七百入厚側實用時計 特價金四拾九圓五拾錢
△銀製卷煙草入 梨地兩面入 金拾八圓五十錢 片切彫刻金象眼入 特價金貳拾圓五十錢 片切彫刻 特價金貳拾七圓五十錢 切嵌込象眼入 特價金貳拾四圓五十錢
京城本町二丁目 村木時計店 電話四七壹番 振替三一九(一)番

鐵 鋼材 浪板、平板 針金、洋釘
ペイント、油類一切 コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他
白神洋行 京城
新田帶革總代理店 (御信表報一報次第代進呈)

最新刊
◎古今支那書畫名家詳傳 (特價拾參圓四) 一、八〇〇
大々保存官衙書誌 淳二 一、二八〇
會計法釋義 德松 一、二〇〇
各國流行玩具圖解製造法 佐瀨 二、〇〇〇
◎お夏淸十郎 吉川霞夏 定價六十五錢
縮刷 渦卷 渡邊霞亭 一、八〇
大愚良寛 相馬御風 二、〇〇
我が子の金錢敎育 三川 九〇
◎朝顏栽培秘訣 千葉晩香 定七五〇
オイケンの哲學 山崎、下野 一、〇〇
入門哲學茶話 高松 一、三〇
乳兒の育て方 太田孝之 一、五〇
京城本町 大阪屋號 電話六八四番 二〇八六番 振替京城二五七三番 (本店)東京(同店)大連、旅順、龍山、釜出

●至急謹告●
今回勸業債券月賦販賣會社が明治四十二年八月發布の內務省令第二號の賞與又は當籤類似其他射倖行爲禁則に抵觸するものあるの理由の基に當局に於て本月七日東京市內七十餘名の營業者に對し七日以降は右營業を禁止するとの命令は既に各新聞紙の報導する處なるが吾等經營する帝國公債信託株式會社は專ら帝國五分利公債の月賦販賣を營業と致し居り今回營業禁止と相成候事とは全然無關係に付右御加入者各位に謹告仕候猶御懸念なく今後引續き御拂込被下度御愛顧の程伏而奉願上候
大正七年六月十日
京城長谷川町五十八番地 帝國公債信託株式會社朝鮮支部 電話二一三四番・振替京城二〇一七番

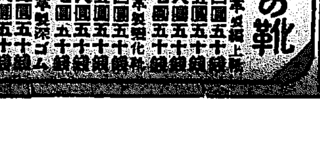
增訂改版 蔬菜の害蟲
農商務省植物檢查所敦賀支所長 高橋奬君著 菊判全一冊 圖版百五十 正價一圓九十錢 小包料十八錢
新刊 斯道實際的の指針として多大の好評を博せる本書は今回更に稿を增し圖版紙數に於て倍加し殊に害蟲として未だ世に知られざる新種二十餘種を加へ殆んど其面目を一新せり所說新趣向平易多數精巧なる圖版と相待ちて實用的理想的好著也。謹んで農界の士に必讀以て恐るべき害蟲の防除に備へよ。
東京・十軒店 裳華房 振替東京七百
京城本町八丁目 大阪屋號 電話二三一七 振替一〇八五〇

元朝鮮總督府技師 京城中央試驗所 紅蔘製造 長富正義著
最新 朝鮮人蔘の飲み方 (蔘業に於ける進步的服用法)
鮮人蔘服用するに最も効驗ある飲み方を覺へ込み自宅にて調合服用するをよしとす。本書には鮮支那古來の服用法、米國に於ける進步的服用法を詳說せり。希望の方は郵券二錢送り迄附す。
埼玉縣浦和 富家正義

司法大臣 松室致閣下題字
京城地方法院所屬辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文
前韓國財政顧問附財務官 小笠原寛先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂
發賣元 京城日報社代理部

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽
大正七年一月一日現在 正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢
本書は府郡廢合の整理を既に結了したる土地調查局の調查により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるものにして一目瞭然たるもの
道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、淸、西曆の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の概況を揭げ
本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くべからざるの必携書なり
發行所 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

◎繭 賣買、周旋、問屋、乾燥 (長電話百三十五番)
龍山驛前 東亞蠶絲株式會社 京城支店
電略トア 振替口座京城五二一九九番

東京三金の靴

ボックス革編上靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製[illegible] 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢
右の均一靴は精選せる材料を熟練なる技術を以て製造せし品なれば一般實用に紳士靴として好適品なり
御注文の節は靴の寸法と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
寸法見本用紙付目錄送呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九〇 振替東京一七二一三

領收證紛失公告
一金壹千貳百五拾圓也 當社第壹回株式拂込金領收證 朝鮮銀行東京支店取扱 番號第拾五號新井出三郎殿名義
右紛失申出ニ付來ル十月拾壹日迄ニ届出ナキ時ハ無效トス
大正七年六月拾日
京城府永樂町二丁目七番地 朝鮮紡織株式會社

佛米軍敵攻擊々退

佛軍九日夜發公報に曰く八日佛米聯合軍はヌイイー及びロボートリー間に於ける戰線に於て前進を繼續しダマール及びレジエーに於ける敵の攻擊を擊退せりと(紐育電報)

米軍陸戰隊の前進

シヤトウ、チエリー附近に於ける勇敢なる米軍の勝利に關する洋報に據れば米國陸戰隊は六哩の全線に於て深さ二哩半の前進を爲したり(華盛頓電報)

獨ウ將軍の演述

コツペンハーゲン來電=ウイスベルグ將軍は獨逸帝國議會に於て『獨逸は無防禦の都市に對し空中攻擊を停止す可しとの提議を審議するに躊躇せず而も獨逸自ら斯かる提議を爲す事無かる可し』と述べたりと(紐育電報)

最近英軍死傷數

最近一週間に於ける英軍死傷者の數は三萬三千八に達せり(紐育電報)

西伯利亞鐵道線執政宣言

チエツク、ブロヴアツク軍と赤衛軍との間に絶えず衝突あるに依りチエリヤビンスクに於けるチエツク、フロヴアツク軍事會議はイルクツク迄の全西伯利鐵道沿線の執政を宣言する旨の決議を爲しニジ、ニウジンスクよりチエリヤビンスク迄の軍事司令官にはガイダ任命されたりと(浦鹽電報)

我陸戰隊 汕頭に上陸す

南北兩軍の形勢一變

十一日海軍省發表=汕頭の方面南北兩軍の形勢一變し擾亂の虞れあり居留民保護の爲め九日夕刻同地在泊帝國軍艦より陸戰隊を上陸せしめたり(東京特電)

◆汕頭擾亂の爲め海軍陸戰隊の上陸を見たるは別電の如くなるが道尹洪兆麟氏の部下童保暄の率ふる南軍が黔中へ行き北軍に擊退され[illegible]を經て汕頭方面に潰亂し汕頭は無警察狀態に陷れるて在留日本人及び臺灣在籍支那人保護の爲め右の行動に出でたるものにて同地は結局北軍の占領に歸す可し(東京特電)

支那對南作戰計畫

段内閣の第五期對南作戰計畫は四川、貴州に對しては守勢を執り廣東に對し全力を盡して攻擊を爲すにありと傳へらる(北京特電)

福建水道借欵計畫

福建督軍李厚基氏は十日政府に對し日本資本家と百五十萬元の水道借欵締結裁可を求め來れり(北京特電)

阪谷男と支那政府

支那政府は阪谷男に對し幣制改革顧問として特別の待遇を以て招聘せん事を申出でたるが男は熟考の後大體の計畫に就ての意見を支那政府に陳述し其の熟考を求めたる儘歸國の途に就きたるが男の招聘に應ずるや否やは右計畫に對する支那政府の處置如何に依りて決定す可しと(北京特電)

陸榮廷の生死

戰報の原因

眞相に關し近衆の支那紙は此程[illegible]南より上海に來れる[illegible]部下の兵士をして[illegible]對し退却の已むなきを見るや態と之を[illegible]を長沙をも棄てざるを得ざるに至[illegible]生ける佛逃を走らせたる故事とは[illegible]

東宮殿下 伊豆行啓

椿油精製所も御見學

東宮殿下には十一日軍艦生駒に御搭乘伊豆大島に御上陸あり島廳並に元村小學校、椿油精製所等御見學の後御歸艦あらせられたるが當夜は軍艦内に御假泊十二日午後二時頃横濱御著同三時半品川驛に御著の筈也(東京特電)

都督府警官增置

關東都督府警察官臨時增置の件は十一日閣議にて決定せり(東京特電)

楠瀬中將來奉

北方視察中なりし楠瀬中將は十一日夜來奉の筈なり(奉天特電)

滿洲移入貨物

五月中に於ける滿洲方面より朝鮮移入及び朝鮮鐵道經由内地移出貨物數量を聞くに内地行一萬三千七百七十五噸朝鮮内三萬四千百二十五噸合計四萬七千九百噸にして之を前月に比し一千八百噸の減少を來せり其の内譯左の如し

	内地行	鮮内行
滿洲線聯絡輸送	三、四七五	七、二〇〇
安東より輸送	一〇、三〇〇	二六、九二五
合計	一三、七七五	三四、一二五

鮮銀信託預金 當分開始せず

朝鮮銀行にて信託業務を營なみ得る事となりし結果内地及び朝鮮に於て漸く信託預金を開始すべしとの事なりしも今回大藏省にて銀行の信託業務に關する法案を新に制定する事となり目下立案中にて多分第四十一議會に提案する事となるべく右法案の實施まで都合上鮮銀信託預金の開始は中止する事となりたる由尙ほ臺灣銀行は昨年より又日本興業銀行は最近信託預金を内地に開始し鮮銀の如きは四千萬圓以上を吸收し相當の成績を擧げたるも政府の意向により兩銀行共信託預金を中止せりと

東拓資金充實

東洋拓殖會社にては昨年公募並に大藏省預金部の引受けに係る社債第三回一千萬圓第四回五百萬圓の大部分は目下朝鮮銀行を主とし各銀行に預入し居り必要に應じて之れを引出し得るに付資金は頗る豐富なるが最近娘會社たる海外業會社の社債九十萬圓を引受くる事に略決定し居り又各種經營事業の投資相當の額に上るも近く新株の第一回拂込み二百五十萬圓あり旁々當分資金の不足に苦しむ如き事はなかるべしと

滿洲線貨車時刻 滿鐵更正

大連管理局にては六月十日より當分の内左記區間の貨物列車の運轉時刻を變更せり

金州、大房身間、瓦房店、萬家嶺間、三十里堡、瓦房店、沙崗、大石橋間、立山、大石橋間、蘇家屯、奉天間、虎石臺、鐵嶺間、四平街公主嶺間、蘇家屯、本溪湖間、石橋子、本溪湖間

公設市場收支計算

建築費十萬圓

京城商業會議所の提唱せる公設中央市場問題に關しては屢々本紙の報道せる如くなるが會議所にて更に市場條規案の編成發表を爲すと共に更に進んで市場收支計算を爲せるが之れに據れば支出と[illegible]萬圓利子七千圓償還[illegible]費四千八百圓臨時費[illegible]及び造作費一千圓雜費二百圓積立金三百圓合計三萬六百圓にして收入としては卸市場收入一萬二千圓小賣市場收入八千四百圓廣場收入五千四百圓倉庫收入四千八百圓合計三萬六百圓を算せり今其の說明を聞くに左の如し

▼地代 本市場の敷地は明治町二丁目李王職所有の廣場五千坪を借用し得るものと假定す右の廣場を借用するに就き幾何の地代を支拂ふを適當とするやは該土地の地價見積りの如何によりて移動し確定的に之を算出し難しと雖も坪當り平均三十五圓と看做すは最も穩當なるもの丶如し會議所は李王家の意思を慮り坪四十圓として計算し該廣場全部を約二十萬圓の價格あるものとし其の年利五分に相當する金額一萬圓を以て地代としたり

▼利子 利子とは市場を建設するにつき借入るべき元金に對するものなり按ずるに市場は約十萬圓を以つて建設し得るが如し其の概算は卸市場は間口三十間奧行十二間(延坪三百六十坪)とし之を坪八十圓を以つて建築すれば其の費用二萬八千八百圓なり小賣市場は一區の間口二間半奧行三間(建坪七坪半)の賣店八十を建築するものとす然る時は總建坪六百坪となり之を坪六十五圓を以つて造るとき總費用三萬九千圓なり倉庫は建坪百八十坪とし坪百三十圓を以つて建築するとき其の費用二萬三千四百圓なり事務所は建坪二十坪とし坪六十圓とする時其の費用千二百圓なり、便所は四箇所に設け一箇十五坪とし坪五十圓とする時は此の費用三千圓なり下水道工事を約四千五百圓を要するものと假定す叙上の費目にして大なる見當違ひを爲さゞるものとすれば合計九萬九百圓にして大略十萬圓と見るべし此の年利を七歩とすれば即ち七千圓となる

▼償還金 右の利子と同額の償還を爲すときは借入金は十年にして完濟するが如し十年の期間は適當と見るべし

▼經常費 經常費の主なるものは吏員及び使用人の給料薪炭燈火瓦斯電話通信費等にして茲には月四百圓を要するものと認め四千八百圓を計上せり

▼臨時費雜費修繕及造作費並に積立金 臨時費に年三百圓雜費に年一百圓修繕及び造作費に年千圓を振當て收入の殘額は積立金としたり

▼卸賣場收入 京城市場の取引總額は約五百萬圓にして實際には或は六百萬圓に登るべし新に設立すべき中央公設市場が此額の五分の一を取扱ひ得べしとは信ぜられず茲には即ち最小限一萬圓を標準とし其の一歩二厘を徴收するものとして計算したり

▼小賣場收入 大連奉天等の市場の小賣場は八十區内外を以つて適當とするが如し而して其の賃貸料は月十二圓と定め同八十區の賣店中十區は常に借入なきものとして計算すれば年收八千四百圓となる

▼廣場收入 假りに豫定の如く圓形式の賣場を建築するものとすれば廣場は約千坪となる此場所に現在毎朝未明に各道路上に開始しつゝある支那人等の生產者全部を收容するとすれば其數三百人に上るべし此等のものより入場料として一人當り五錢を徴收すれば一箇月四百五十圓年額五千四百圓となるべし

▼倉庫收入 倉庫の建坪は百八十坪なり之れを先づ市場商人の爲めに利用せしめ猶ほ餘りあらば一般商估の爲めに開放するとすれば必ず坪當り二圓以上の月收を見るべし

□大阪だより

投資家の留意を要す

○最近に於ける事業界は漸次動搖せる行詰りを呈し鑛業石炭業の稍々堅實なる發達を遂げ居れる外は概して資金の窮乏を訴へ殊に勞銀の昂騰と生產費の增加は益々甚しく殆ど底止する處を知らざる有樣なるのみならず原料の影響による原料商と需給關係の不均衡を招致せる等各種製造工業は著しく打擊を來し商業方面は彼の戰時利得稅問題に何れも個人經營を改めて株式組織に變更する等資金關係は逐日逼迫不圓滑を示し營業資產の需要漸次頻繁を來し去月中旬以來諸稅納期の一段落を告ぐると共に一時引緩みを示したる金融狀態も六日新國債拂込に際し忽ちコールの亂調を呈したるが如き明かに資產狀態の堅實ならざるを立證せるものと云ふべく然かも去月中に於ける全國手形交換高は百六十八萬九千四百六十七枚四十億七千六百十三萬九千四百七十二圓に達し前年同期に比し枚數に於て二割金額に於て八割の增加を來せるの事實は最も注目を要すべし

○而して最近調査に依る五月中の事業計畫資本總額は二億七百八十一萬七千五百圓を算し發起擴張の額二億千八百十一萬千五百五十圓なり即ち前月に對比して一億二千百四十一萬八千百八十圓を增加せるも其の大部分は個人商店の組織變更並に安田銀行其他の增資による所謂内容資金が表面に計上されたるに過ぎずして漫然たる新設擴張資本の增加とは云ひ難きのみならず事業整理は益々各種業界の覺醒を促し省察の度を高め既設會社と雖も一般に内容の充實業礎の堅實固定減價償却等の主要問題を閑却して唯配當の增率並に考課狀表面數字の誇張に汲々とし或種に屬するものゝ如き實際資金以上手張過ぎたる擴張に著手する等の現狀は最も戒むべき事にて事業界の計畫資本の驚情期の如き一面同月中に於て失敗蹉跌の結果遂に解散を發表せるもの二百十三社に及び之が資本額千二百七十九萬二千六十四圓拂込額六百五十九萬七千九百九十七圓に達せり

○要するに事業界の趨勢は昨年の勃興氣運に乘じて簇生せる不堅實なる會社の尙ほ一掃されざるため從つて財界の順調を破りて資金流動狀態の甚だ不面目なる現今未だ銀行業者が其他資金貸出に關して警戒を怠らざるは當然にて前途相當投資家の留意を要すべし(在阪記者)

黒鉛の暴落

城津經濟界打擊

最近著るしく其の聲價を高めし城津の黒鉛は印度產品の輸入杜絶以來價格漸次昂騰し一噸の價格四百圓臺より進んで五百圓を突破し更に六百圓臺を越ゆ昨年の生產高は俄然激增して六百噸に達したるも尙ほ供給不足の狀態にて年を越ゆ價格は依然高潮を呈せしより爾來採鑛の範圍漸く擴大し本年の產出量は一千噸以上に達すべく一般に豫想せられ設備著々成りて將に生產の盛期に入らんとする五月中旬突然黒鉛價格暴落の報傳はりし其の原因に就ては或は生產過剩と云ひ或は内地需要者の排斥品の爲めなりと稱し判明せず故に當業者は何れも五里霧中に彷徨し其の眞相を確め得る迄輸出は暫く杜絶の姿となり之が爲め小資本の當業者は頗る困惑し從つて城津の經濟界に大打擊を來し金融逼迫市況沈衰を來せるが黒鉛業の盛衰は城津の消長に關する重大問題なるを以て當業者は之が善後策に就て新たに協議中なり(城津)

鹿港丸坐礁

大黒山島附近にて

北海道函館山崎汽船會社所有船鹿港丸(二千四百五十五噸)は九日午後七時濃霧の爲め全羅南道大黒山島南端より約十一哩を距る苦島西岸にて坐礁せり目下船體救助の見込ありとの無線電信通知に依り救助の爲め十二日御館丸遭難地へ出動せり(木浦特電)

弓波執行日程

弓波執行は十二日朝退京群山に向ひ同地の監獄分監視察の上十三日木浦著十四日大田に引返して講演會に臨み直ちに大邱に赴き一泊同地の監獄

■百聞百種■

內地ではヤレ長者議員の選擧、ヤレ殿樣議員の選擧、ヤレ補缺選擧の市會議員選擧のと蜂の巣を突いた樣に八ケ間敷い事夥しいがお隣の支那でも大總統選擧と云ふ四川徐州に火の手揚げようと云ふ大した問題が控へてゐる▲尤も正式に選擧するのは本年十月の十日だから未だゆつくり時日があるので形勢が其間に什麼な工合に變化して什麼者が飛び出して什麼な騷動が持上るか今から豫想の限りに非ずだが目下の形勢を一寸紹介するなら▲此選擧の最後の決定權は各省督軍が手中に握つてゐる事は支那現時の政情に見て明かな事だが從來の形勢は北洋派は勿論全國の穩健分子は一樣に徐世昌氏を推薦し一般も大いに其氣になつて居たが▲最近になつて現大總統馮國璋氏が各省督軍の勢力を侵す事無く地方分權主義を容認するに於ては强ち更らに雁首をすげ替へる必要も無いぢやあないかと云ふ說が起つて成程それもさうだと云ふ事になつた▲督軍も封建制度の握保然と纏まつてゐる以上自分の位置さへグラつかす者が出なければ敢て異越を論せずと澄まし込んでゐる▲支那と云へば海南島に頑張つてゐた龍濟光將軍が北京へ乘り込むと北京筐は大騷ぎ好い顏だと云つてゐる何んな風に好いかと問へば『殺氣是滿面』だとサ

入京消息

▲長谷部鑑氏(新任京畿道警務部副官大尉) 十八日連絡船にて歸任の筈
▲松井房次郎氏(元山稅關長) 十一日入京
▲管□□□氏(京城郵便局出張所長) 同上
▲桂文夫氏(東京電氣會社門司支店長) 同上
▲中原清超氏(東京電氣會社員) 同上
▲西脇俊太郎氏(黄海道事務官) 十一日夜出
▲片山登氏(海軍少佐) 十一日朝退京
▲大喜多數太郎氏(大北鐵業所長) 同上突屆
▲女川昇氏(平壤衛戍病院長) 十一日夜退京

肥料暴利取締

時に於ては最も重大なる問題なり故に政府は本問題に對しては常に[illegible]て政府は之を緩和するの手段とし暴利取締令外米管理令等を制定[illegible]限を加へ一面には堆肥綠肥等自給[illegible]肥料の增加を奬勵したり然れども[illegible]も多し此時機に[illegible]的の[illegible]

時計貴金屬指輪眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂
電話一〇二〇番 振替京城二〇四番

イヤナ 取散
總監部御認可、衛生無害
◎新發賣一袋金七錢
イヤナは蠅を一時に殺し早き法なし 室内の空氣中に少量を撒布せば十分間にて死すること保證す
京城南米倉町 交番所前 島田藥房
△特約店及行商希望の方照會乞ふ

京日案内
普通 一回前金一圓五十錢
番外 一回前金(一番外)
▲申込後中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の申込は特に割引のこと ▲前金照會は必ず返信料封入のこと

看護婦及見習看護婦入用
◎看護婦は經驗ある見習生を要す 本人來談あれ
明治町一ノ九 贊化病院 193

看護婦及見習看護婦入用
並に女中一名雇入度し
明治町二丁目七十五番地 森病院 195

事務員急採用
年齡廿五歲以下簿記に堪能ノ者但履歷書持参あれ(電話九〇五番)
京城三坂通 齋藤製系社 161

宏大なる朝鮮建物參拾餘坪住宅別莊向に適當
所在北米倉町四十番地内 右賣却す
南米倉町八八 齋藤出張店 電話一一九〇 194

事務員至急採用
年齡廿五歲以下簿記に堪能の者
京城三坂通 電話九〇五 齋藤製系社 191

見習看護婦及看護婦 三名至急入用
南大門通り(電話一四六二番) 二丁目七番地 若槻醫院 190

左官用布海苔
銀杏草並に櫻草
金剛、南道木浦府 山本萬次郎商店 149

年金恩給 最長期即時立替 利極安前貸なし 保險不要
▲京城永樂町 江州屋本店 47
諸種草卸

▲流行燈籠▼
▲特價金拾圓也▼
◎純毛にして新流行縞物四種 ◎世間ありふれたる內地製品にあらず ▲送料拾二錢

純英國製にして「シワノヨラヌ」至急御注文願上候
右非常の好評殘部僅少と相成候間
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部
電話長六〇〇九番 振替金百〇〇番

支部營業開始廣告
一 有價證券現物賣買
一 勸業債券割賦販賣
當社は大正七年三月三十日公布の有價證券割賦販賣取締法に據り設立
大日本債券株式會社朝鮮支部
本社 大阪市南區末吉橋通一丁目二十一番地
支部 京城府光化門通電車停留場角(電話一四四七番)
勸業債券高價買入
一方出張所長、代理店長、及有給外勤社員招聘希望者は自筆履歷書添付申込まれたし(返信料參錢切手封入の事)

日鮮會話精通
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著
袖珍總クロース頗美本◉七百餘頁◉定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書に縮きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次所 京城本町一丁目 大阪屋號、京城本町二丁目 巖松堂

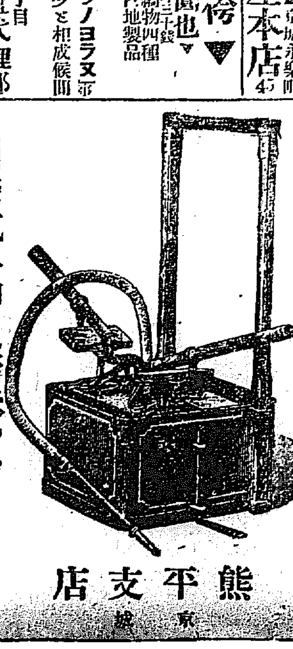
財を護るには?
竹內製ベンド式金庫に限る!!

多數新荷著今回に限り特に割安に提供可致候
特約店 和洋金物商 京城本町 釘本藤次郎本店
電話二七七 五五二 振替京城四六番

眼鏡專門

△弊堂特色
レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强
(詳細定價表發行す)
京城南大門通二丁目二二番地
宮川大學堂
電話二九五 振替京城壹貳九番
(眼鏡製造工場子弟入用)

輕便ポンプ界の王者
磯式手押足踏ポンプ



京城 熊平支店

明治三十九年九月一日第三種郵便物認可

[illegible]介儕之を証明とし現に龍濟光は林公使に對し其の確實なる旨を語りたりとのことなるが其の虛報傳播[illegible]節報の出處は其實南軍自身より出でたるものにして岳州陷落に先立ち其の守將程潛は北軍の優勢に[illegible]娶ぜんとの三國志流の奇策を案出したる迄は善かりしも潮の如き北軍の爲衆寡敵せず竟に譚浩明と共[illegible]逃血を吐いて死せりとかの虛報の如き全く之が爲に起れるものにして程將軍折角の名案も死せる孔明に[illegible]去の風說は此の如き奇譚が本となり一時南方人すら之を信ずるに至りたるものなりと

[illegible]施行するとなれり右に關し道家農務局長曰く食料問題は平時に於ても重要の問題なるが特に戰[illegible]は已むを得ずとするも斯る[illegible]しきに於ては國民の生活に重大なる影響を與ふること勿論なるを以[illegible]肥料のことなり農商[illegible]の暴騰を抑制し其供給[illegible]めざる爲昨年八月肥料の輸出に制[illegible]賞勘しとせず特に昨今は稻田植付の時期にして肥料を要すること最[illegible]因に農商務省にては本省令公布と同時に地方長官に對し肥料自給狀況の調査を命ずる筈なり(東京)

◇花菖蒲の盛り ―十一日百花園にて―

戰禍に捲込まれて

◇眞の藝術は滅び行かうと◇
◇しつゝある佛蘭西美術界◇

畫家は筆に代ふるに劍を以てし藝術などは振り返つて見る者も無い ―小林萬吾氏談―

歐洲戰爭が始まつて以來佛蘭西では大家にして戰線に出てゐる者が多い許りでなく兵馬倥偬の折柄とて藝術などを振返つて見てゐる餘裕がないので流石全盛を極めた藝壇も一頓挫を來し今では辛うじて

◆戰爭畫に依つて畫家の命脈を保つてゐるに過ぎないが之とて敵愾心に訴へるとか軍國の人氣に投ずるために描いてゐるもので眞の藝術品として幾何の價値もない、されば言つて戰爭の慘禍から受けた國民生活の動搖や厭世悲觀の淵に沈んだ思想上の刺戟に依る深刻な運動が現はれるでもなければ新たな革命の萌しもない佛蘭西藝壇の現狀は悲慘と言へば

◆悲慘の極である、然らば戰後は什麽革命が起るかと言はれると一寸問題が六ケ敷なるが私の考へでは飽くまでも眞藝な深刻な生活に觸れた處のものが戰爭に依つて運命を恐れ、寳人生の深刻な痛苦を嘗めた人心に要求される事と思はれる、佛蘭西はクラシックの進み方で形も色彩もシピットとでも言はうか優婉爛熟の極度に達し純フランス、タイプなるものは世界の藝壇を風靡してゐた然るに十九世紀以後大家が蹶出して盛んに傑作を出したため

◆世間では漸くクラシックの畫風に飽きて來たのと、此等大家は一朝一夕に修養したのではなくて正しい規則の下に幾多の辛酸を嘗め努力に努力を重ねて大成した人達で後人が如何に焦つても其名聲に光被せられて名を成す事が出來ないため自然變つた傾向を見せて世の中から賞讃を博さうとしていろ／＼な運動を起した結果紫派の出現となり、クラシックと初期印象派の間を行かんとする後期印象派の新生面の開拓となり、之と共に

◆未來派こか三角派とか言ふ眞面目な沙汰とは受取れない運動が現はれて一時は批評家などが盛んに擡き上げ世間も又好奇の眼を瞪つたものである、今ではやつと落ついて後期印象派の全盛時代となり佛蘭西の藝術は茲に最高潮に達したが、それもこれも戰爭の爲に一頓挫を來して眞の意味で言ふ藝術は全滅の姿である、戰爭は藝壇のために幸であるか不幸であるかと言ふ事は解らないが私はシピットの極點に達したフランスの藝術も戰爭を區切りに

◆後世印象派の畑から脫したクラシックを繰返すやうな事のない、されば言つて未來派の如き馬鹿げた傾向に趨らない眞藝な緊張した冗談事でない、生活に卽した深刻な傾向を取つて新しい天地を拓いて行くと思ふ

◉偽紙幣の罔で八百圓を詐取す

群山府屯栗里生れ當時鎮南浦府廳內桃里居住無職金商麟(四三)慶尚南道晋州南門內當時鎮南浦府廳內桃里無職朴道善(三四)外二名は之も億兩桃里に住める舟乘業金臺鎬(三三)なる者が小千圓の金を所持せるを見て惡心を起し其の金を卷揚げんと謀り前記の四名は去る四日午後一時頃金臺鎬を誘ひ出して支那料理店三和樓に到り飲酒しながら賭博を始め朴道善は金商麟より千五百圓を敗け金より精算を迫られたるが朴は豫て申合せ居る事とて千五百圓の紙幣束を見せながら金に向ひ一度有金を見たる上精算すべし若し現金を持たず賭博に加はりしなれば一文も支拂ふの義務なしと口論を始め結局金商麟は最初より傍にて見物し居る金臺鎬を別室に呼び現金の持合せ無き爲勝ちたる千五百圓を受取る事出來ず見せ金として一寸貸して呉れと同人より八百七十圓を借りて座に還りて千五百圓を受取りしが間も無く金商麟は小便に立ちたる儘座に歸り來らず茲に金臺鎬も初めて不安の念を起し急ぎ億兩桃へ探しに出で行きしも見當らず外の三名に糺し見んと三和樓に引返したる時は既に三人共在らざる始末に全く僞紙幣で詐欺に罹りし事を悟り靑くなりて其旨南浦署に屆出でたるが目下犯人の所在搜索中なり(平壌)

◉紙幣偽造者 鍾路署に捕はる

忠北淸州郡原州華里生れの朱手燕(四二)は僞造したる朝鮮銀行一圓券二枚を見本として携へ之を示して大仕掛に紙幣僞造を企てんと資本主を物色しつゝ京城市中を徘徊中鍾路署に逮捕されしが取調べに對し同人は僞造したる支那紙幣七萬圓を隱匿しありと申立てしが眞僞は確かならざるが身柄は檢事局送りとなる

◉平壌中學校 寄宿舍參觀(三)

―模範と稱せらる、規律正しい生活―

一通り參觀を了へたる時須具學生監は日常生活に就て語る、本校教育の方針は教育勅語の御趣旨を體して我が國情を辨じ世界の大勢を明かにし忠良の臣民たらしむること

◆國憲を重んじ國法を遵守し忠良の國民たらしむること人道を重んじ世界の大勢を察し常に眞摯中正の見を執り我が民族性の美質を發揚せしむること師道を尊び品行を謹み勤勞を重んじ堅忍質實なる校風を樹立すること常に心身の壯健を圖り志氣を錬り自彊自勵各志を遂げ國家有用の材たらしむるにあるのであるから寄宿生も之に基いて指導監督することになつて居る。時候と日の長短によりて各々異なる譯であるが朝は午前五時乃至六時七時に起床させるそして直ちに朝の禮と云つて朝禮浴、冷水浴、乾布摩擦等を各自の好により勝手に行らせるこれが起床時間よりして約五十分間、それから

◆朝の禮と云つて學校長が主職に立つて全生徒より敬禮を受ける此の朝の禮は始業第一喇叭の合圖により分班生長の指揮を待つて心身を整へ敬虔の念を持して敬禮を行ふのである、天氣快晴の日は全生徒中から指定して明治天皇御製の『朝みどり澄みわたりたる大空の廣きを己が心ともがな』『さしのぼる朝日のごとくさわやかにもたまほしきは心なりけり』の二首を詠誦せしめることになつて居るそれが終つてから各々教室に向ふのであり組別に集合して[illegible]が課外入浴を爲し又外出が許さることになつて居るが自習時間の午後七時までには是非とも歸校せねばならぬ、午後七時になると

◆各自習を始めしめるのであるが午後七時より午後七時四十分乃至八時までに第一自習とし十分間休憩後四十分間乃至一十分間を第二自習として此の自習時間には一切騷音を出すことを許さず話かけるものがあつても返答するに及ばぬことになつて居るこれは如何に複雜な場所に於ても能く靜かに精神を統一して萬事を處理する習慣を付けしむる爲めである、第二自習後約三十分間を自由にして盛んに質問應答を爲さしめ其の自習を終ると更に宿直の先生徒監が生徒から夜の質問を受くるのである、それから消燈時間であつて此の三十分は夜の行と云つて朝の行のやうに夜禮浴又は夜稽古を各自に行らせることになつて居る、而して

◆寄宿生は病氣其他特別の事情があつて許可を受くる以外には制服を着用しまた第一第三の土曜日には校內の大掃除をなすが之れが寄宿生の日常生活の概要であるが要するに殆んど軍隊同樣の生活をして居るものと思へば大差はなからう(完)(一記者)

所謂紳士の體操に就いて(十)

―簡單容易な强健運動―

◇淑女にも應用す可し◇

九州帝國大學醫科大學教授 醫學博士 櫻井恒次郎

五、呼吸運動

○此の運動に際しての呼吸の關係は先づ息を吸ひ込んで置いて徐々に息を吐き出しながら軀幹を捻轉し、再び息を吸ひながら元に復すのである、然るに先方に言はせると之れ等諸運動に對する呼吸の關係や方法は手の位置等に就いても反對の意見がある程であるが、呼吸に關しては、明になる學說上の說明が出來るし、手の位置に關しては、實行上の必要から斯くの如くしたのである、從つて諸君は顧念することなく、此體操を實行されて好いのである

○以上の諸運動を行へば、吾人の體の殆んど總ての臓器が使用せられて其の健全さ否とが吟味せらるゝのみならず、之れ等の臓器は皆な能働的に作用しながら之れと同時に、吾人の肥大の本能を發揮し得るのである。器は更に各一定の努力を致したる部なれば、之れに必要なる原動力の消費を顧慮なくしたには相違なく、從つて之れ等の臓器は、揃て多少鍛への缺乏を補ふなるべし、之れを調節せんが爲めに、最後に尙ほ輕度の呼吸運動を追加することゝしました

◇呼吸運動を說明するに先だちて、簡單に呼吸なる動作を說明しおくの必要がある。吾人の生存に最も必要なるは食物である。而して之れ等の食物は三種の狀態に於て體中に攝取せらるゝのである。卽ち固體液體の形狀に於て攝取するものは米、肉、野菜、茶、水等の如き、普通食物と稱するもので、汽體の形狀に於て攝取するものは空氣である。固體液體の食物は、暫く之れを攝取せずとも尙ほ堪へ得るのであるが、氣體の食物、卽ち空氣に至りては、之れを攝取せざれば忽ち窒息に陷るべし。從つて其の攝取は吾人の生存に寸時も缺く可からざる要件である。

○扨て空氣を吸ひ込むのは肺の作用であつて肺が擴がれば空氣が氣道を經て肺に入り込み、肺が收縮すれば空氣が之れを經て再び出て行くのである。氣道とは鼻孔、鼻腔、咽頭、喉頭及び氣管のことである。口や口腔は固體液體の食物を攝取する道具であつて之れから空氣を出入せしめると云ふことは、餘儀なき場合の外は不合理である

○扨如斯肺が收縮擴張して空氣を吸ひ込み又吐き出すことを呼吸運動と云ふのであるが、此呼吸運動によつて空氣が氣管から氣管支を經て肺中に入れば氣管支の無數の枝を傳はつて其の末端に附著して居る處の肺胞と云ふ部分に達し、茲で初めて空氣は滲透作用により薄き肺胞の壁を透して其の周圍を取り卷く處の毛細管中の血液に酸素を供給し、血液中の炭酸を亦同じ作用によりて血管壁を經て肺胞中に入り、斯の如くにして初めて靜脈血が動脈血に變化するのである

◇處で肺其のものは擴張する能力も、亦收縮する能力も有つて居らないので、唯被動的に胸廓の變化に伴うて膨縮するので有る、卽ち胸廓が擴張すれば肺も亦擴張し之れが收縮すれば肺も亦收縮するのである。處で胸廓の擴張は二つの形式で營まるゝのである。

○卽ち一は胸廓の側壁が擴がり、一は胸廓の下壁が擴張して、之れが擴がるのであるが胸廓擴張の作用に出て肋骨が擧がる云ふ迄もなく側壁が擴がる爲めには呼吸筋の作用によつて肋骨が擧上せらるゝので此呼吸法を胸式呼吸と云うて居る、次に胸廓の下壁は云ふ迄もなく横隔膜から出來て居つて此膜によつて胸腔と腹腔とは絕對的に分離せられて居るのである、横隔膜と云へば、何か強い膜の様に聞ゆるが、其の之れは一種の横紋筋で意志に從つて收縮するのである、處で横隔膜は通常の狀態にあつては胸腔に向つて凸隆して居るが此膜が收縮すると、之れが下方に下がつて來る、從つて胸腔が此方面に於ても亦擴張し來るのであるが、横隔膜の收縮は腹部諸臓器を壓迫するから、之れ等は比較的抵抗の弱い腹壁の前壁に向つて膨隆し、其結果として腹が張つて來る、夫れ故に此式の呼吸を腹式呼吸と云ふのである

◇以上は吸氣卽ち肺に息を吸ひ込んだ場合であるが、今度は呼氣卽ち肺から息を出す場合には肋骨が自己の重量に由つて、下がつて側壁が縮少し、横隔膜が弛緩して元の位置に復し、從つて胸腔が縮少するのである尤も深呼吸卽ち强く息をする場合には、肋骨を擧るにも下げるにも特別の筋が働き、横隔膜を元の位置に復するには、腹筋が働いて腹壓を惹起し、其結果として壓迫された腹部諸臓器が、横隔膜を强く上方へ凸隆せしめるのである

○扨上述の如き動作によつて、呼吸運動が營まるゝのであるが、此血によつて血液に供給せらるゝ處の酸素の量は決して無制限ではない。本來酸素が血液中に吸收せらるゝのは血液中の赤血球に含まれて居る血色素卽ちヘモグロビンが化學作用によつて酸素と結び付くのであるが血液中の赤血球の數は健全なる人にありては殆んど一定して居るので如何に肺が多量の空氣を吸ひ込み得たとしても、血液に吸收する酸素の量には一定の制限がある、然らば何故に吾人は深呼吸など稱するものを行つて多量の空氣を入れたり出したりするかと云へば、之れには深い理由がある

◉狂犬の話

狂犬が殖ゑる時季になつた

兆々狂犬が出て來るやうです、今年は昨年程多くはありませんが夫でも尙この狂犬に噛まれた人は決して尠くありません、この寫眞は市內某家の飼犬ですが何時とはなしに瘦せ衰へ眼は異樣に充血して來て、これ迄とは似ても似付かぬ

◆▲無氣味な犬になりましたので、早速獸醫さんに診て貰ひますと驚くではありませんか、これは正眞正銘ひもない狂犬だつたのです、狂犬にも種々ありますがこれは躁狂症と云ふ部類に屬するのだ相です、ゴツ／＼と骨立つた身體、その身體の

◆▲構へ方など何處となく普通の達者な犬と異ふところは外形に現はれた狂犬の特徵の一つです、異ふと云へば眼の色も吠ゆ聲も普通の犬とは大變な相違があります、又普通の犬が咬み付く時は必らずワン／＼と

◆▲猛烈に吠え立てますが狂犬はワンとも云はずに默つて飛び蒐つて來ます、ですから斯んな犬に出會したら決して油斷はなりません若し不幸にして咬み付かれたら時を移さず豫防注射を受けることです、世間の多くの人は狂犬は何時もかつも狂躁するものと思つて居るやうですが決して然うではありません、一度狂躁すると其後五六時間は靜止狀態がつゞき夫から又

◆▲發作が來て狂躁すると云ふ風に靜止と狂躁を絶えず繰返して居るのです、狂躁が來ると盲目滅法に暴れ廻り木、石、鐵なんでも手當り――オツト口當り次第に咬み付きますから隨分危險です然し靜止狀態の時でもうつかり近寄ると飛び蒐つて來ますから

◆▲油斷は出來ません、人がシテ遣られるのは大抵この時です、獸醫の犬は狂犬と確定すると同時にストリキニーネを呑ませて殺して仕舞ひましたが早いもので藥を呑んでから三分ばかりでコロリと參つて仕舞ひました

運動界

▼京倶對徹新復讐戰 過る日曜日訓練院グランドに於ける會戰に京城倶樂部軍の爲め無慙にも十六對零てふスコンクゲームにて一蹴せられたる徹新學校野球團は爰日の陣容を新にして復讐をなすべく挑戰せるに對し京倶軍快諾を與へ來る十三日(木曜日)午後四時より再び訓練院に於て會戰する事となれり

▼大毎優勝旗爭奪戰 爰に大阪毎日新聞社より京城庭球倶樂部所屬各團體に寄贈せられし優勝旗一旒は此程現品到着せるを以て同倶樂部主催となり大阪毎日社後援の下に來る十六日午前八時より明治町三井物產會社コートに於て第一回優勝旗爭奪戰を行ふ事となれるが各團體より選手三組宛を出し雌雄を決する手筈にして參加團體數十五六に達すべく各參加團體代表者は十一日午後七時より銀行集會所に會同競技上に關する諸打合をなしたり

◎解雇廣告

家守 伊藤文之助

右使用の處今般都合により解雇候に付今後一切關係無之候也

京城黃金町三丁目二五五 諸戶安太郎

一服にてきゝめある
くだりどめ
高貴藥
新藥 清腸(セイチョー) オブラート添附
主治 ●霍亂 ●加答兒 ●赤痢 ●疫痢 ●裏急後重 ●水瀉 ●其他食傷等より起る一切の下痢病
配合
價 金拾錢 金廿錢 金五拾錢 金壹圓
本舖 大阪堂島元橋 高橋盛大堂藥局
發賣 同心齋橋南詰 高橋盛大堂分店
●各地到る處の藥店に販賣す

あざ ほくろ バカス しみ いれずみ
●全治して喜び禮狀山の如く着院す
ほせ藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫音尾博士先生が數年間苦心研究の結果決して害なく不思議にヨクキク特効藥を發見致しました是迄種々無責任な藥で治療しても効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く三錢切手封入「東京府淀橋町柏木百廿番東京博愛藥院」宛申込めば確實安全秘密に治療の出來る自宅新療法の本を無代進呈

人から嫌はれる わきがを
●全治して喜び禮狀山の如し
責任有る確實で早くなほしなさい
◉音尾博士先生創見
◉化學的療法無代進呈
藥學界に名聲ある陸軍一等軍醫音尾博士先生は男女わきが病にてお困りの人を助けんが爲め數年間苦心研究の結果今回最も進步したる「チゼン液」にて實に不思議にヨクキク責任ある藥を創見致しました是迄無責任な一寸素人ダマシの賣藥にて効無くお困りの人も彼是と迷はず一日も早く東京府淀橋町柏木百弐拾番地東京博愛藥院宛にハガキで申込めば治法の本を無代で上ます

資本金壹千萬圓
★株式會社 百三十銀行 京城支店
京城本町壹丁目 頭取 安田善三郎
電話 長五八番 京城一一九〇
振替貯金 京城一四三番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地有之候

アメリカ製 十八金張 十ケ年保險付
壹本 特價 金四圓 送料十二錢
京城太平通 京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
酒井婦人病院
院長 酒井一郎
電話 一八番 二六〇〇番

感じの好い化粧
それは、美顔ユーマーにて地肌の美くしくなつてゐる御顔のお化粧

美顔ユーマー
桃谷研究試驗所創製の化粧液にして高貴御用品の一種

花瓣の樣な膚
ご顔色こは[illegible]上であります
美顔ユーマーの評判好きは此點

京城西小門町二一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

◉獨軍陣中で喜ばれた 日本美人繪葉書 ◆滑稽な一事◆

茲に最も滑稽な事があるこれは昨年二月頃伯林で發行された月刊戰時漫畫に戰地よりとして獨逸の軍人が頻りに日本人に御辭儀をして居る畫が掲載せられてあつた其理由は斯うである今次の歐洲戰爭が斯く迄に擴大しない前乃ち獨逸が膠州灣のために出兵したと云ふ噂のあつた當時獨逸に嘗て留學して居つて其後米國方面に渡つた日本人が自分等の知り合の友人が出征すると云ふので在紐育の

▽日本學生連で 二萬枚ばかりの日本美人の繪はがきを慰安の意味で獨軍へ贈ると彼等は大いに嬉しがつて其厚意を謝し更に陣中の無聊を慰むるに罷國の美人を以てするのも極めて妙だから斯は支拂ふ十萬枚程送つてくれと云ふ折返しての註文であつた紐育の同胞は森村、三井等から澤山の繪はがきを買つて彼等の要求に應じ早速送り屆けた處が其後

▽日獨國交の破るゝに 至つて其送つた繪はがきが着いたのやら途中紛失したのやら一向に消息を知るを得なかつた然るに如何云ふ機會であつたか紛れ〳〵て一昨々年卽ち千九百十五年の夏屆け先でないアルサス、ローレンの方面に野營してゐる獨軍陣地に到着したと云ふ事であつた當時獨逸軍は地中海方面に潜航艇を走らし日本の商船に危害を加へんとし日本を不倶戴天の仇とし之れを懲さずんば

▽百年涙滴の乾く 間もないと恨骨髓に徹して居つた其軍人に敵の日本人が慰問繪はがきを寄贈したと云ふので初め切齒して烈火の如く怒つたが靜に考へて見ると敵國ながらも個人としての情を保ち人類としての交誼を結んでをる處は流石に宏量なる日本魂の發露であると一同は稱贊し心よく其好意を享けた後同分隊の指揮官たるツエツペリン將軍から紐育の日本學生に

▽く鄭篤なる禮狀を 送つた（ツエツペリン將軍はツエツペリン伯の息にして父伯はツエツペリン式飛行機の成功家として獨逸皇帝より二十世紀に於ける獨逸最大の空中の偉人と稱贊せられたる人）前述の如き理由の下に『佛を苦しめるは可なり英國を倒すは尚可なり露國を滅ぼすは更に妙なり獨り日東の天地に光明を無限に放つ日本を敵視するに忍びず』と云ふ如な氣運が獨逸軍人の或る一部に漂つて來た事實は確にある

◇小說 妻の心 休載

おとぎばなし 狸の淺智恵 八島柳堂

或るところに、一匹の狸が居ました、狸は、武者修業に出て、劍術や柔道を習つた上、深い山の中で、神樣から變化術と云ふのを敎はりました、

『よし〳〵是位の腕が出來れば、もう俺は天下一の豪傑だ』と云つて大層威張りながら山から降りて參ります、ふと向ふの山道を見ると郵便屋さんが郵便行嚢を肩に擔いで『エッシャのシャ、エッシャのシャ……』の掛聲で走つて參ります

『おや……あれは人間だな、一寸此處で術を使つて、お百姓に化けてやらう』狸は岩と岩の間に隱れて草を頭の上に載せました、

『おーい、おーい、郵便屋さん……』

『誰だい、俺を呼ぶのは』

『誰でもない私だよ』

『あゝ、お百姓さんか、いゝお天氣樣で、して何か用でもあるのかい』

『用はないのだがネ、郵便屋さん私がお百姓に見えますかい』

『ハヽヽ、さうかい、見えるとも立派なお百姓さんだネ』

『郵便屋さん、眞實に見えますかい』

『眞實だとも、だがお百姓、後の方に一寸見えるものがあるよ』

『何が見えますかネ』

『尻尾が見えて居るよ』

狸は吃驚して、急いで尻尾を隱さうとしました、

『狸さん、もう、駄目だよ、頭隱して尻隱さずとは、お前さんのことだ、そんな事では人間樣は胡魔化せないよ』

『郵便屋さん、是れあ、私が惡かつた、頭許り隱して、尻尾を隱さなかつたのは私の失敗だつた』と云つて狸はピヨコ〳〵お辭儀をして謝りました、

『狸さん、俺だつて、もつとよく化ける法を知つて居るよ』

『それは、面白い、私にも是非一度敎へて呉れませんか』

『あゝ、いゝとも〳〵、それでは一寸此袋の中へお入り』と郵便屋さんは空行嚢を擴げました、狸は何氣なく其中に入りました、

『郵便屋さん、是でいゝかい』

『あゝ、宜敷い』と云つて郵便屋さんは袋の口を締めて終ひました

そうして、よつとこさと擔ぐと又『エッシャのシャ、エッシャのシャ』で郵便局へ歸つて行きました

『郵便屋さんよう、早く敎へて下さい……』

『今に敎へてやるよ』暫くしてから狸は遂う〳〵殺されて狸汁にして食はれて終ひましたとさ（をはり）

讀者の領分

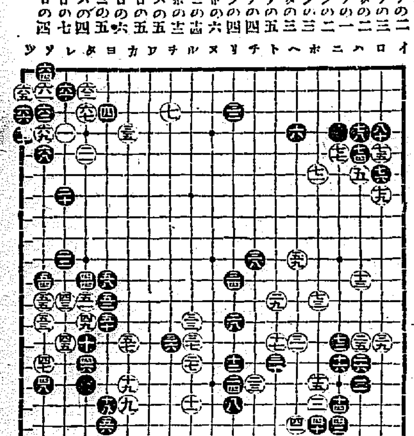
▲本年度受檢者に於ける徴兵身體檢査を受け合格したる者にして第一、第三、第四、第五、第十、第十二、第十四、第十五、第十七師團管内に本籍を有する壯丁に限り歩兵、騎兵、砲兵、工兵に採用せられ在朝鮮諸部隊に入營し其の他の師團管内本籍の者は内地部隊に入營す（軍司令部）▲龍山から京城へ電話を掛る時には直ちに通話する事が出來るのに京城から龍山へ通ずるには少くとも五分間以上の時間を費さなければなりません迎ひになると十分もかゝります實際それだけの時間を費さればならぬでせうか（無線電話）▲僕が某會社へ用があつていつた所がハイカラ女が何か家庭の事情があつてつとめて居るのだそれにかゝはらず手に腕時計なんかしてこれを見よとばかりの顔なして大いばり綺りみづともよくないよよし給へ宜さい虚榮心の高い女だそれもどこかの令嬢ならよいが會社なんかにつとめる身でありながら（某小僧）▲百日咳で御困りの御方へ申す金柑の葉を四枚煎じて其の湯を冷めてから服ますと一週間以内になほるさうです（或北町椿生）

碁戰（四）

（大正七年五月二十二日京城於紀本龍太郎氏宅）

二子 初段 源吉氏
五段 柳亭 佐藤伊藏氏

六一	ソの二
六二	ツの三
六三	タの二
六四	ソの一
六五	ツの二
六六	ツの三
六七	タの三
六八	ソの五
六九	ソの四
七〇	ツの四
七一	カの六
七二	ニの吉
七三	ホの吉
七四	ハの五
七五	ロの五
七六	ニの六
七七	ニの五
七八	ハの四
七九	ロの七
八〇	ロの四



和漢藥の復興と振出藥の（靈藥）中將湯

藥劑を購ふのに物好は大禁物

■病氣を癒そうの 一心からであるが、あれはキクだろうか、これは確だろうかと、際限もなく迷ひ初めた結句に、例の廣告利用のヘンな研究劑などを押し賣りされて、無駄な金を費つたはてに、クスリは斯ふも効かないものかと悲觀して居らるゝ方もあります、

■流行品ならば その時任せの心持で氣に入つた型を求めるなども惡るくはありませんが、天にも地にも掛替のない大切な身體の故障をナヲスのに物好き半分でクスリを購ふのは危險千万です、

■和漢藥の眞價が 將來界に認識せられて一流の婦人科醫が振出藥を盛んに賞用する今日の時世に、わざ〳〵効驗のあやしげな新式藥などを試みることは物好きの絶頂です、

■教育ある近代婦人 が中將湯より他の婦人藥は見向も遊ばさぬ傾向のあるのは洵に喜ばしいことゝ存じます「事實は最大の雄辯なり」とは中將湯の所有する格言で厶います、

■洋藥萬能を謳歌 した今より二十年以前の頃は、時勢の流行を追ふていろ〳〵な新式錠劑などを發賣した商人もありましたが、いくら努力しても賣り擴めることが出來ませんでした、何んと云つても藥劑の眞價は藥効の一点にあるので、藥効の卓越せる中將湯が世界第一の婦人藥となつたのは當然の事實でありますこれが最大の雄辯です

血の道 子宮病

●子宮病 ●血の道 ●逆上頭痛
●下腹痛 ●夜眠れず ●難産流産
●癇高ぶり ●つはり ●こしけ
●産前産後 ●血ぶさり ●つふさぎ
●月經滯り ●膀加答兒 ●腰足冷込
●内膜炎 ●婦人神經 ●月經不順

定價
二日分 二十五錢
四日分 五十錢
一週分 八十錢
二週分 一圓五十錢
三週分 二圓十錢
五週分 三圓二十錢

●加減藥あり容態詳く御申込あれ
一週分 壹圓
三週分 二圓七十錢

世界到る處の藥店にあり

中將湯

本館
東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二・六三 振替東京六〇八番
大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二五一番 振替大阪五四六番

詳細は本月六日の本紙を御覧

百圓進呈 りん病 ばい毒 請合 藥價 [illegible]

淋病藥王藥は治淋劑とし梅毒藥王藥は驅梅内服藥として醫學上最有効と確定し── 帝國醫科大學病院に於て常に接配劑せる高薬なるを保証す若し前述の證言に違へる事を發見せる時は 分析料百圓進呈

◎あらゆる治療をなすも効なき患者は一度來談あれ

にせ物 東京其他各地ににせドラッグあり

大阪有田 服を買おれ

京城南大門外停車場通 ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町三丁目 ドラッグ商會

支店 龍山、仁川、平壤 釜山、元山、大邱

他の藥店に販賣を不許 京城南山等各地に偽物有御注意

京城 南大門外停車場通 大阪 ドラッグ商會

乘合自動車著發時刻

鐵原居自動車部 金泉支部

釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行 和歌浦丸 月 日 午後五時出 / 立神丸 月 日 午後五時出
○元山、清津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日 午後十時出 / 立神丸 月 日 午後四時出
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三翠平丸 四月 日 後六時出
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三翠平丸 四月 日 後六時出
釜山港立町 大池回漕部

大阪商船出帆 仁川出帆

◉神戸、大阪行 日清丸 六月十一日 後五時出 / 能登丸 六月廿四日 後五時出
◉西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 六月十二日 後十二時
◉釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 六月十一日 後九時出
大連出帆
◉上海、基隆、打狗行 湖北丸 六月九日 前六時出 / 基隆丸 六月廿日 後四時出
内地各港出帆ハ省略
歐洲行 一年四回 / 南米行 一年四回 / 濠洲行 毎月一回 / 北米行 毎月二回 / 孟買行 毎月二回 / 南洋行 毎月一回

御注意 ▲外航航路ハ時間切符發賣 [illegible]

大阪商船株式會社仁川支店 電話二番・二〇番・五〇番
京城切符發賣所 京城取扱所 電話七〇八番

日本郵船仁川出帆

○大連、天津行 相模丸 六月十九日 / 三河丸 七月九日 正午出 / 高砂丸 六月廿九日
仁川海岸町一丁目十一番 堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
／下關、大阪直行 第一大湖丸 六月八日 後四時出 / 大有丸 六月八日 後四時出
仁川、下關、神阪行 君が代丸 六月十一日後四時出
仁川海岸通二丁目 新 [illegible]

三阿波共同汽船仁川出帆
大連直行 廿一共同丸 六月十三日後入港 六月十四日後出港
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三）
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城大阪店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○敦賀行 平壤丸 六月十九日 清津發 元山經由 / 六月廿二日 元山發
○浦汐行 山陽丸 六月十八日 釜山發 / 六月二十日 元山發
○雄基行 京畿丸 六月十四日 釜山發 / 六月十七日 元山發 / 成鏡丸 六月十九日 釜山發 / 六月廿三日 元山發
○元山雄基線 鏡城丸 六月十一日 元山發
○大阪行 平安丸 六月十四日 釜山發 / 六月十六日 元山發
○關門行 ×麗耶山丸 六月十五日 元山發 / 六月十八日 釜山發 / 忠清丸 六月十一日 元山發 / 六月十五日 釜山發
○金剛山遊覧便 穩城丸 六月十三日 元山發
○鬱陵島行 盈徳丸 六月十二日 釜山發
○釜山浦項線 江陵丸 毎日 釜山、浦項發
○濟州島行 昌平丸 六月十日 釜山發
○濟州島行 木浦發 東廻慶興丸 六月十二日 / 西廻公州丸 六月十九日 木浦發
○釜山麗水線 海州丸、巨濟丸、統營丸 毎日 釜山麗水發
○木浦麗水線 金海丸 六月十日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月十四日 木浦發
○木浦行 慶寶丸 六月十三日 仁川發
○濟州行 錦江丸成歡丸毎日一回仁川海州發
○鎭南浦行 晋州丸 六月十六日 仁川發
○青島行 江原丸 六月十一日 仁川發
○鎭浦汕大連直行線 宗信丸 六月十二日 鎭南浦發
朝鮮郵船株式會社 本社 京城南大門通（電話一九五二）
釜山港佐藤町 釜山支店
元山港海岸通 元山出張所
仁川港代理店 堀回漕部
木浦代理店
京城荷客取扱店 小野回漕部
京城南大門驛前 京城運送店

十一日後場(引) 下關明米 十一日後場 大阪正米 著にて先限二圓八十錢と二錢節八十錢七十九錢八名九錢六錢七安に寄付七十錢と押し八十一錢三錢六錢五錢六錢四節七十六錢と返したるが三節大阪後寄六十四七錢六錢後の入電により [illegible]